2022年度

学 生 募 集 要 項

（一 般 選 抜）

＜新型コロナウイルス感染症への対応について＞
　新型コロナウイルス感染症への対応について、最新の情報を Web サイトに掲載します。入学者選抜要項や学生募集要項で公表した内容に変更が生じる場合も以下の Web サイトで公表しますので、随時ご確認ください。

○大阪公立大学　入試情報サイト
　https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/

2021年11月

大 阪 公 立 大 学

目　　次

2022年度入学者選抜（一般選抜）日程 …… 1
大阪公立大学の３つのポリシー …… 2
〔１〕試験方式・日程 …… 16
〔２〕募集人員 …… 17
〔３〕出願資格 …… 20
〔４〕出願手続（インターネット出願） …… 20
　１　出願期間 …… 20
　２　出願方法 …… 21
　３　入学検定料等の支払方法 …… 22
　４　出願書類等 …… 22
　５　出願についての注意 …… 24
　６　受験票等の送付 …… 26
　７　出願に関する問合せ先 …… 26
〔５〕受験上・修学上の配慮について …… 26
〔６〕選抜方法 …… 27
　１　選抜方法について …… 27
　２　個別学力検査等時間割 …… 29
　３　個別学力検査等会場 …… 31
　別表１　大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等 …… 32
　　教科・科目名の表記及び注意事項等について …… 50
　別表２　経済学部後期日程選抜方法等 …… 52
　別表３　医学部医学科前期日程選抜方法等 …… 54
〔７〕受験上の注意 …… 55
〔８〕合格者発表 …… 56
　１　合格者発表について …… 56
　２　合格通知書及び入学手続書類 …… 57
〔９〕入学手続 …… 57
　１　入学手続について …… 57
　２　所属学科の変更 …… 58
　３　入学許可の取消し …… 58
〔10〕追加合格 …… 58
〔11〕学費（入学料・授業料等） …… 59
〔12〕経済支援制度について …… 60
〔13〕個人別成績の情報提供について …… 60
〔14〕その他 …… 61
　○　個人情報の取扱いについて
　○　入試情報の公表について
　○　主な学びのキャンパスについて
〔15〕新型コロナウイルス感染症等に係る個別学力検査等の特別日程試験について …… 63
試験場案内図 …… 74
交通アクセス …… 78
問合せ先・各キャンパス窓口 …… 79

2022年度入学者選抜（一般選抜）日程

大学入学共通テスト
2022年１月15日（土）・16日（日）
（追・再試験：１月29日（土）・30日（日））

出願期間（前期日程・中期日程・後期日程）
①インターネット出願登録期間：2022年１月21日（金）10:00～２月４日（金）17:00
②出願書類の郵送提出期間　　：2022年１月24日（月）～２月４日（金）必着
※①と②の両方を期間内に行わなければ出願手続完了とはなりません。

（P. 20参照）

前期日程出願

受験票等の送付
第１段階選抜結果発表日
２月14日（月）
（P. 26参照）

試験日
２月25日（金）
・26日（土）
※２月26日（土）は医学部医学科のみ
（P. 29, 55参照）

合格者発表日
３月９日（水）
（P. 56参照）

入学手続日
３月14日（月）
・15日（火）
※学部・学域等により日時に指定があります。
（P. 57参照）

中期日程出願

受験票等の送付
第１段階選抜結果発表日
２月18日（金）
（P. 26参照）

試験日
３月８日（火）
（P. 30, 55参照）

合格者発表日
３月23日（水）
（P. 56参照）

入学手続日
３月26日（土）・27日（日）
※学部・学域等により日時に指定があります。
（P. 57参照）

後期日程出願

試験日
３月12日（土）
（P. 30, 55参照）

合格者発表日
３月22日（火）
（P. 56参照）

特別日程試験

※特別日程試験で個別学力検査等（筆記試験・口述試験）を実施する場合の日程
（P. 63参照）

試験日
３月22日（火）

合格者発表日
３月25日（金）

入学手続日
３月26日（土）
・27日（日）
※学部・学域等により日時に指定があります。

追加合格
2022年３月28日（月）
※入学手続完了者が入学定員を下回った場合に追加合格を行うことがあります。
（P. 58参照）

入学式
2022年４月11日（月）［予定］

大阪公立大学の３つのポリシー

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

大阪公立大学では、学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。

このため、学士課程では、各学部等のカリキュラム・ポリシーに準じたカリキュラムを全学共通教育としての「基幹教育」と「専門教育」の２つに区分する。基幹教育は、その企画・運営組織として「国際基幹教育機構」を設置し、外国語の運用能力を含めた国際的なコミュニケーション能力、幅広い視野に立つ自主的、総合的な判断力と問題発見・解決能力を養い、継続的、発展的な学修を支えるためのコアを形成することを目指すとともに、Society 5.0 時代などに求められる人材や高等教育の目指すべき姿など大学への社会的要請を踏まえ幅広い知識の獲得を目指す。専門教育では、さらに専門領域の基礎的知識に加え、実践的態度、倫理的態度、創造的な感性や知性という広義の教養を備え、卒業後も学び続ける姿勢を身に付けることができるように高度で専門的な内容を修得することを目指す。各学部等の教育課程では、基幹教育と専門教育を通じて必要な知識・技能・態度・能力等を獲得し、これらを活用し、社会変化に対応できる人材となることを目指す。

全ての学生が（知識・理解）、（技能）、（態度・志向性）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の領域で、下記の具体的な学修成果を上げることを目指す。

学士課程で目指す学修成果

（知識・理解）

○　多様性について学び、他文化・異文化に関する知識を尊重・理解することができる。
○　人間と言語・文化、科学と技術、社会と歴史、環境と健康・スポーツについて尊重し、理解を深めることができる。
○　それぞれの専門領域の知識と技術を体系的に学び、応用できる。

（技能）

○　日本語や外国語を用い、それぞれに求められる水準で受信、発信、やりとり、仲介を行うことができる。
○　自然や社会現象について数学・統計を用いて分析し、意思決定に活用できる。
○　情報通信技術（ICT）などを用いて多様な情報を収集・分析して適切に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
○　情報や知識の複眼的、論理的分析に基づき、批判的思考（クリティカル・シンキング）をし、更に表現することができる。
○　問題を発見するスキルや、解決に必要な情報を収集・分析・整理するスキルを獲得し、その問題の解決に向かうことのできる実践力を身に付ける。

（態度・志向性）

○　自分で考え、良心に従い、社会のルールを尊重して自分の責任で判断し行動できる。
○　他者と協調して行動でき、また、必要に応じて他者に方向性を示し、リーダーシップをとることができる。
○　地域をはじめとする社会の一員としての意識を持ち、社会の発展のために積極的に関与できる。
○　自ら学ぶ姿勢を身に付け、生涯にわたって進んで学修できる。

（統合的な学修経験と創造的思考力）

○　これまでに獲得した知識・技能・実践力等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決することができる。

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

大阪公立大学における学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、前述の「学士課程で目指す学修成果」を達成しているかなど、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。

授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に１年次・２年次において学び、専門科目は２年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。基幹教育科目は以下の方針で編成している。

○　学生として自ら学ぶ姿勢を身に付け、アカデミックスキルの基礎を身に付けるため、１年前期必修科目として「初年次ゼミナール」を導入する。
○　学生の視点に立った学修の系統性や順次性を重視し、各々のカリキュラムの中で中核となる科目を必修科目と位置づけ、学生にとって履修計画が立てやすいものとする。
○　基幹教育と専門教育との接続性を重視し、学士課程全体を通して学修成果が達成できるカリキュラムを構築する。
○　全学的な協力体制の下で、複数の専門分野にまたがる横断的な科目の配置、全学の学生が目指すべき進路や興味関心に応じて自由に選択・履修できる「副専攻」の設置など、学域・学部の枠を越えて幅広く学ぶことができる教育課程の編成を行う。
○　学期は、１年を前期・後期の２学期制とし、15 週の授業期間と試験期間を設ける。

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。

そのために、本学の学士課程では以下の方針に基づいて、学生の多様な能力を評価するための入学者選抜を実施する。従って、この方針をよく理解したうえで、高等学校までの学びを深め、広めることを期待する。

(1) 高等学校教育段階において目指す学力の３要素を確認する。
(2) 本学の基幹教育に十分に対応できる準備性を備えていることを確認する。
(3) 学域や各学部のアドミッション・ポリシーに示す資質を備えていることを確認する。

現代システム科学域

求める学生像

現代社会においては、環境問題、社会・福祉問題、心理的問題が複雑に絡み合い、現在のような豊かな社会が持続可能かどうかは疑問視される状況となっており、これらの複雑な問題を解決し、持続可能な社会を実現するという高い志を持った人材の育成が求められている。本学域では、複数の学問分野を融合的に学びつつ PBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、現代社会の諸問題を解決することができる人材を養成することを目指す。

したがって、本学域では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）
１　高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
２　問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
３　自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
（社会の諸問題への関心）
４　現代社会の諸問題に対する関心を有している人

知識情報システム学類

知識情報システム学類では、情報学およびその応用分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的に PBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、現代社会におけるさまざまな課題を解決するために情報システム開発・活用することができる人材を養成する。

したがって、知識情報システム学類では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）
１　高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、知識情報システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
２　問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
３　自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
（社会の諸問題への関心）
４　現代社会の諸問題に対する関心を有している人

環境社会システム学類

環境社会システム学類では、自然科学、人文・社会科学、人間科学の融合領域を学びながら、他の学問領域の学生と協働的に PBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、自然環境、社会環境、環境哲学・政策の課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって環境社会システム学類では、次のような学生を求めている。

（知識・技能）
１　高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、環境社会システム学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
２　問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
３　自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
（社会の諸問題への関心）
４　現代社会の諸問題に対する関心を有している人

教育福祉学類

教育福祉学類では、社会福祉学、保育学、教育学、ジェンダー論及びその関連分野を学びながら、他の学問領域の学生と協働的に PBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、教育福祉に関わるさまざまな課題を総合的に解決できる人材を養成する。

したがって、教育福祉学類では次のような学生を求めている。

（知識・技能）
１　高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、教育福祉学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
２　問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
３　自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人

（社会の諸問題への関心）
　４　現代社会の諸問題に対する関心を有している人

心理学類
　実験心理学と臨床心理学を統合的に学びながら、他の学問領域の学生と協働的にPBL（Project-Based-Learning）に取り組むことを通して、ヒトの心理的問題を解決できる人材を養成する。
　したがって心理学類では、次のような学生を求めている。
（知識・技能）
　１　高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、心理学を学ぶための基礎的な知識・技能を有している人
（思考力・判断力・表現力）
　２　問題解決を行うための基礎的な思考力・判断力を有している人
　３　自分の考え方や意見を他者に的確に伝えるための基礎的な表現力を有している人
（社会の諸問題への関心）
　４　現代社会の諸問題に対する関心を有している人

入学者選抜の基本方針
【一般選抜（前期日程）】
（知識・技能）大学入学共通テスト、調査書、個別学力検査を用いて評価する。
（思考力・判断力・表現力）大学入学共通テスト、個別学力検査を用いて評価する。
（社会の諸問題への関心）志望理由書を用いて評価する。

【一般選抜（後期日程）】
（知識・技能）大学入学共通テスト、調査書を用いて評価する。
（思考力・判断力・表現力）大学入学共通テスト、面接を用いて評価する。
（社会の諸問題への関心）面接、志望理由書を用いて評価する。

文学部

求める学生像
　文学部は、予測不可能な時代、高度知識基盤社会、グローバル社会にあって、自分のよさや可能性を認識し、あらゆる他者を尊重し、多様な人々と協働しながら、豊かで持続可能な社会の創り手となる人材の育成を目ざす。
　具体的には、(1)人文科学・行動科学の方法や考え方を通して人間、社会、文化、言語の諸事象について深く考えることができ、(2)コミュニケーション能力を身につけ、国際的、歴史的視野から問題解決をはかる能力を備え、また(3)教育機関、文化行政、出版・ジャーナリズム、国際交流、情報サービス産業などの第一線で活躍できる専門職業人を育成することを目標とする。
　以上の人材育成目標に対応して、文学部では、次のような学生を求める。
　１　自らの将来像を自覚的に形成し、それに向けて努力し具体的に取り組む意欲を持っている人
　２　学修のための基礎的能力を持ち、以下のような学問的関心を有する人
　　・人間の思考と社会・文化の生成発展について考えてみたい人
　　・人間行動の原理と社会のしくみについて考えてみたい人
　　・さまざまな言語や文学・芸術について考えてみたい人
　　・さまざまな文化的営みを社会のなかで活かす方法を考えてみたい人
　　・論理的思考を鍛え新しいものの見方を求めようとする人
　３　学部・学科・コースの目的や教育内容を理解し、自らの将来像と関連させて考えている人
　４　入学後に上記の能力や関心を活かして学部・学科・コースの教育・人材育成の目標を深く理解し、創造的に学べる発展可能性を持つ人

入学者選抜の基本方針
【一般選抜（前期日程）】
　大学入学共通テストと個別学力検査を実施し、調査書等も評価対象とするが、２種類の試験で学力の３要素のうち知識・技能と思考力・判断力・表現力を評価する。また、大学入学共通テストでは、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、文学部での学修に十分に対応できる、知識・技能と思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認する。さらに、調査書等の内容から主体性・多様性・協働性についても評価し、以上の各評価を総合して選抜を行う。

【一般選抜（後期日程）】
　大学入学共通テストと個別学力検査を実施し、調査書等も評価対象とするが、２種類の試験で学力の３要素のうち知識・技能と思考力・判断力・表現力を評価する。また、大学入学共通テストでは、高等学校教育段階において目ざす基礎学力を、個別学力検査では、文学部での学修に十分に対応できる、思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認する。さらに、調査書等の内容から主体性・多様性・協働性についても評価し、以上の各評価を総合して選抜を行う。

法学部

求める学生像
　今後ますます複雑化する日本社会・国際社会においては、その健全な発展と安定に大いに寄与する人材を育成することが求められている。そこで、大阪公立大学法学部は、約70年にわたって法学政治学の研究教育機関として重要な役割を果たしてきた大阪市立大学法学部の伝統を継承しつつ、社会科学的な素養と法的思考力（リーガル・マインド）を身に付け、人権感覚豊かで有能な民主主義社会の担い手となりうる人材を養成するという教育の理念・目的のもと、幅広い学問体系を擁する総合大学とし

て優れた人材を育成し、民主主義社会において中核を担う人材を社会の多方面に供給する。
以上を前提として、大阪公立大学法学部は、次のような学生を求める。
1　新しい問題に果敢に取り組む知的好奇心を持つ人
2　自分を相対化するための想像力と豊かな人間性を持つ人
3　相手の意見を的確に理解し、自分の意見を論理的に構成して、正確に表現・文章化する能力を持つ人
4　法学・政治学の専門的知識を身につけるために必要な一般教養を有する人

入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】
大学入学共通テストでは高等学校教育段階において獲得された基礎学力を、また個別学力検査では法学部での勉学に十分対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの獲得水準をそれぞれ確認するとともに、主体性・多様性・協働性などに係る記述が記載されている調査書の内容とあわせて総合的に評価する。

【一般選抜（後期日程）】
大学入学共通テストでは高等学校教育段階において獲得された基礎学力を、また個別学力検査等では法学・政治学の勉学に必要な思考力・判断力・表現力などに関する適性と能力をそれぞれ確認するとともに、主体性・多様性・協働性などに係る記述が記載されている調査書の内容とあわせて総合的に評価する。

経済学部

求める学生像

本学部は、「経済学の素養、データ処理能力、異文化の学習・咀嚼能力、他者との協働の能力、豊かな構想力を活かしながら、グローバルな社会と地域社会が直面する諸課題への解決策を能動的かつ先取り的に提案することのできる人」を育てるという教育目標にもとづき、高等学校教育段階において人文・社会・自然科学を均衡のとれた仕方で学修し、グローバルな経済・社会が直面している問題に関心を抱き、他者との意思疎通や共同の事業に取り組むことのできる人を受け入れる。

入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】
大学入学共通テストでは、高等学校教育段階において獲得された基礎学力を、個別学力検査では、経済学部での学修に十分に対応できる知識とそれを活かした思考力・判断力・表現力などの獲得水準を評価する。

【一般選抜（後期日程）】
〔高得点選抜〕
大学入学共通テストにより、高等学校教育段階においてめざす基礎学力と経済学部での学修に十分に対応できる能力とを確認する。大学入学共通テストについては、総点の高得点度を判定する。
〔ユニーク選抜〕
大学入学共通テストでは高等学校教育段階においてめざす基礎学力および経済学部での学修に十分に対応できる能力を、自己推薦書・特別活動要覧等の書類では活動成果・実績を、それぞれ確認することにより、学力の３要素を評価する。

商学部

求める学生像

商学部では、商学部での学びに必要な基本的な知識と能力、外国語能力を身につけ、企業や社会について旺盛な探求心と世界的視野と批判的精神を持って学修し、その成果をもって経済社会の発展と持続可能な社会の実現に積極的に貢献しようとする意欲と能力があり、人間性と将来性が豊かな学生を求めている。
また、商学部の掲げる人材養成の方針を理解し、自分の将来に活かす努力を惜しまない学生を求めている。

商学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて商学科では次のような関心を持つ学生を求めている。
・企業が抱える経営並びに国際経営上の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
・金融・流通の諸問題の構造やその解決に関心を持っている人
・社会における会計の役割に関心を持っている人

公共経営学科

商学部で定めているアドミッション・ポリシーにもとづいて公共経営学科では次のような関心を持つ学生を求めている。
・企業や経済の地域性や社会性に関心を持っている人
・地方公共団体などの公的機関や非営利組織の仕組みや役割に関心を持っている人

入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】
大学入学共通テストによって高等学校教育段階においてめざす知識・技能、個別学力検査によって商学部での学修に十分に対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認し、調査書によって主体性・多様性・協働性を確認して、総合的に評価をおこなう。

【一般選抜（後期日程）】
大学入学共通テストによって高等学校教育段階においてめざす知識・技能、商学部での学修に十分に対応できる知識に基づい

た思考力・判断力・表現力をそれぞれ確認し、調査書によって主体性・多様性・協働性を確認して、総合的に評価をおこなう。

理学部

求める学生像

中央教育審議会答申「我が国の高等教育の将来像」は、21 世紀を「知識基盤社会」の時代と位置づけ、「人々の知的活動・創造力が最大の資源である我が国にとって、優れた人材の育成と科学技術の振興は不可欠」と提言している。国際競争が激化するこれからの社会において、科学技術の実力は、国力を左右すると言っても過言ではない。この答申を踏まえて、本学部は総合的理学部とし、研究大学を目指す本学の理系の教育・研究の中核を担う。世界第一線の研究成果を出し人類の知の最前線を切り拓くとともに、その研究活動を学部教育に還元し、次世代の我が国を担う優れた人材の育成・輩出を行うことを目的とする。本学部を卒業し関連領域における研究者や技術者を目指すためには、柔軟な発想と論理的思考にもとづく課題発見能力と問題解決能力が必要である。

したがって、本学部では次のような学生を求めている。

1　数学や自然現象に対する強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
2　論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3　国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
4　コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5　健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

数学科

本学部の求める学生像を受けて、本学科では、数学の深い専門知識の修得と、それに基づいた洞察力や論理的思考能力の涵養を目的として教育を行う。世界レベルの数学の研究に接することを通して、洞察力、論理的思考能力、コミュニケーション能力を鍛錬し、問題解決能力を備えた専門職業人、中学校・高等学校の数学教員、及び大学院進学により更なる数学の研究を志す人を養成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　数学への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
2　数学を理解するために必要な論理的思考力を向上させようと努力する人
3　自ら進んで数学を学び、ねばり強く考えて問題解決を図ろうとする人
4　教員や他の学生との議論を通じて、論理的なコミュニケーションに努める人
5　数学を通じて社会貢献を目指す人

物理学科

本学科では、未解決の問題に論理的思考と柔軟性を持って挑む創造性豊かな人材を養成するという社会的要請に応えるために、幅広い教養教育、物理学の理論・実験の両面からの教育に、最先端の研究を組み合わせた系統的なカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　自然現象への好奇心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
2　物理学を学ぶための基礎的能力、自然の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、問題解決に向けての実行力、さらに自らの知識と考えを表現できる能力を備えている人
3　国際的視野をもちつつ、物理学に関係する分野で社会に貢献したい人
4　コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5　健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

化学科

化学は、物質の成り立ちと性質を原子・分子レベルで理解する学問である。化学の知識と技術は、医薬品・化成品、環境にやさしい機能性素材・電池などの私たちの生活と暮らしに役立つ数多くの有用な物質を生み出す、基幹学問として現代社会に必要な不可欠なものとなっている。本学科では、本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、化学の原理を理解し、化学を実践するために必要な基礎学力を身につけ、新しい化学を創発するための化学の知識と柔軟な思考力を備えた人材を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　化学実験や理論を含む化学の幅広い分野に興味をもち、勉学意欲に溢れる人
2　化学に関する知識を社会におけるさまざまな問題や課題の解決に役立て、社会の発展に貢献したいと考えている人
3　化学を学び、その活躍の場を地域社会や世界に広げていきたいと考えている人
4　他の科学分野や広く社会とつながりを持ち、社会の発展のための共生共存の道を探ることができる人
5　科学倫理を遵守し、研究を実践できる人

生物学科

本学部のアドミッション・ポリシーを踏まえて、本学科では、生物学に関する基本原理の理解に必要な基礎学力を備え、柔軟な発想と論理的思考にもとづいて課題を発見し，それを解決する能力を持つ学生を育成する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　生物及び生命現象に対する強い関心があり、勉学意欲に溢れる人
2　生物学に関する論理的な思考力、自ら学ぶ探求心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3　国際的視野を持ちつつ、生物学に関わる専門知識に基づいて地域社会への貢献をめざそうとする人
4　コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5　健全な倫理観に基づく判断力を備えている人
6　自らの考えを人に伝える能力を持つ人

地球学科

幅広い自然科学及び科学技術の知識と、これらを地球の探究に展開できる能力、またグローバルな視点に基づき多面的に思考できる能力が、自然環境や地球環境問題を理解する上で重要である。本学科では、自然環境や地球環境問題を多面的にまた時系列的に捉えるための理論的手法・実験的手法、野外での調査技術、得た知見を正確に伝える能力の修養を通じて、広く社会に貢献できる人材、及び大学院進学により更なる研究を志す人材を育成・輩出することを目的とする。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　地球への好奇心や探究心が旺盛で、勉学意欲に溢れる人
2　地球の法則性を解明するために必要な論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3　国際的視野をもちつつ、地球学に関係する分野で社会に貢献したい人
4　コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5　健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

生物化学科

本学科では、生命現象のメカニズムを分子論的に理解する学問である生物化学の関連領域で活躍する研究者や技術者などの人材の育成を目指す。そして、これらの人材に求められる柔軟な発想にもとづく課題発見能力と問題解決能力を身につけるために必要な講義、演習、実習からなるカリキュラムを提供する。

したがって、本学科では次のような学生を求めている。

1　生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して強い関心と理解があり、勉学意欲に溢れる人
2　生命現象のメカニズムを分子論的に解明することに対して論理的な思考力、自ら学ぶ探究心及び問題解決に向けての実行力を備えている人
3　国際的視野をもちつつ、地域社会への貢献をめざそうとする人
4　コミュニケーション能力を身につける努力を惜しまない人
5　健全な倫理観に基づく判断力を備えている人

入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程）】

大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。個別学力検査により、理学の学修・研究に必要な数学・理科・英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。調査書により、理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

【一般選抜（後期日程）】

数学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。大学入学共通テストと個別学力検査により、数学の学修・研究に必要な数学に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。また、調査書により、数学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

物理学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。大学入学共通テストと個別学力検査により、物理学の学修・研究に必要な数学及び物理学に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。また、調査書により、物理学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

化学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。個別学力検査により、化学の学修・研究に必要な英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。また、調査書により、化学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

生物学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。大学入学共通テストと個別学力検査により、生物学の学修・研究に必要な生物学に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。また、調査書により、生物学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

地球学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。大学入学共通テストと口述試験により、地球学の学修・研究に必要な高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを評価する。また、調査書と口述試験により、地球学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

生物化学科

調査書と大学入学共通テストにより、高等学校における教科・科目を幅広く学習し、本学の基幹教育に十分に対応できる基礎学力（知識・技能、思考力・判断力）を有していることを評価する。口述試験により表現力を評価するとともに、調査書と口述試験により、生物化学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度を有していることを評価する。

工学部

求める学生像

工学部は、「自由と進取の気風、新しい文化と産業の創造、世界雄飛」をモットーに、真理の探究と知の創造を重視し、自然環境と調和する科学技術の進展を図り、持続可能な社会の発展と文化の創造に貢献することを目指す。

このために、人と社会と自然に対する広い視野と深い知識をもち、豊かな人間性と高い倫理観および専門能力を兼ね備え、工学における重要な課題を主体的に認識して問題の解決に努め、社会の発展、福祉の向上および文化の創造に貢献できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、工学部では、学問を深く継続して学ぶ意欲に富み、人や自然を愛し、人類の持続可能な発展と世界平和に関わる未知の問題に果敢に立ち向かい、地球環境を守るという気概をもつ、次のような学生を求める。

1　工学を学ぶことに対する目的意識を明確にもち、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
2　自由闊達で何事にも興味をもち、主体的、積極的に学び、自ら新たな課題を見つけ研究をしていこうとする人
3　工学的諸問題への強い関心と、問題解決への目標意識をもっている人

以上のような、工学部の教育理念・目的にふさわしい次の１～４の能力や適性を身に付けた学生を選抜する。

1　高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
2　工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学、物理学、化学の素養を身に付けている人
3　英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身に付けている人
4　論理的に考える素養を身に付けている人

航空宇宙工学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい航空宇宙システムを創出していくことが必要である。そのために航空宇宙工学科では、複雑化、多様化、複合化する現代社会の工学システムの中で、特に、高機能化、知能化、システム化が求められている航空宇宙システムを確立するために、基礎から最先端までの幅広い視野にたって航空宇宙工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、航空宇宙工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

1　航空宇宙工学の基礎から応用に対する強い関心があり、持続可能な社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
2　新しい航空宇宙システムを創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
3　航空宇宙工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
4　高い倫理観を持ち、航空宇宙工学の専門知識と技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

海洋システム工学科

私たちの住む地球は、地圏、水圏、気圏とそこで生きる生物圏から構成されるひとつのシステムととらえることができる。いま、この地球システムは生物圏での人間活動によって大きな影響を受け、さまざまな障害が起こることが懸念されている。海洋システム工学科では、地球システムの中の水圏、特に海の環境という自然を理解し、その自然を壊すことなく海を利用し豊かな人間社会に貢献するために、海という自然システムと海を利用する人工システムを統合する学問の構築を目指す。

海洋における人間活動に関わるすべての技術は、人間および環境との調和の上にあるべきとの基本理念のもとに、海洋における各種の人工システムに関する研究、開発、設計、生産、運用を担う人材、および海洋環境の計測、保全、創造に寄与できる人材を育成する。

この教育理念に基づいて、地球システムの中の海洋システムを理解するために、海洋環境およびその中で使用される人工システムに関する基礎学力をつけ、さらに専門知識を習得するとともに、総合的に物事を考える能力を育成すること、また、社会的倫理観を養い、国際社会においても活躍できるための自己表現力をつけ、幅広い分野で活躍できる創造性豊かな有能な人材を社会に送り出すことを目指す。

したがって、海洋システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、一般選抜では、次のような学生を求める。

1　海洋システム工学に対する強い関心があり、この分野で、人と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
2　論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、学習意欲を継続できる人
3　高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

機械工学科

持続的発展が可能な社会を構築していくことが求められる中で、人・環境と共存・共生する機械技術、機械システムの確立が必要不可欠となっている。そのために機械工学科では、機械工学を中心とした幅広い知識、技能と、豊かな人間性、倫理観を持ち、大阪から地球規模までの機械工学における重要な課題を、材料からシステム、環境、エネルギーまで、原子・分子レベルのナノ・マイクロスケールから社会のマクロスケールまで多角的、俯瞰的な視点で認識・考察して、主体的に克服・解決法を発想し、実践する人材を育成することを目標とする。

したがって、機械工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

1　機械工学の幅広い技術・学術に強い関心があり、社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持つ人
2　機械工学に関する専門知識と技術、論理的な思考力、豊かな創造力の獲得を目指し、勉学意欲を持つ人
3　機械工学に関する専門知識と技術をもとに、国際的な視野で豊かな社会の構築に貢献する意欲を持つ人
4　高い倫理観を持ち、機械工学に関する専門知識と技術を利用して、社会の諸問題の解決に意欲的に取組む人

建築学科

成熟期を迎えた社会の諸課題を的確に把握し、持続可能な生活空間を実現するためには、工学から自然科学、人文社会科学に至るまで、幅広い領域の知識・技能を統合する必要がある。

建築学科は芸術・学術・技術に立脚した「建築総合教育」と、学生の個性を育てる「少人数教育」によって、社会の諸課題に

対し専門的な知識・技能を統合し、持続可能な生活空間の実現にむけて主体的に行動できるような、柔軟な発想力と論理的な思考力を備えたデザイナーやエンジニアの育成を目指す。

したがって建築学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求めている。

1　建築という形のあるものを実現するための芸術・学術・技術に幅広く興味のもてる人
2　立体的な思考にもとづく空間やものづくりに主体的に取り組める人
3　自分の意見を他人に伝えるコミュニケーションに意欲のある人

都市学科

社会経済情勢、環境問題、災害対策、国際化などにより都市のあるべき姿は常に変化してきた。都市固有の歴史と文化を継承・発展させつつ、環境への負荷を低減し、人間活動と自然環境が調和した、豊かでかつ災害などの外的インパクトにも強く柔軟に対応できる、安全・安心で機能的な都市、すなわち「持続可能都市」の実現が強く求められている。

都市学科では、この持続可能都市を探求し、またその構築および維持管理に係る技術について学び、それらの最先端課題について研究する。都市学科の教育研究対象は、人間社会の介在する公共空間であり、恵みと破壊をもたらす自然現象でもある。また、その課題は地域性とともに普遍性を有し、その現象は微生物スケールから地球規模のスケールにいたるまで大きな幅がある。そのため、都市学科では工学部のアドミッション・ポリシーに加えて、次のような学生を求める。

1　都市の成り立ちや機能、現状の課題について日ごろから興味・関心があり、社会全体の幸福に貢献できる人
2　数学や理科などの自然科学分野の基礎学力を有し、それらの工学的応用について関心がある人
3　地理や歴史、公民などの社会の基礎学力を有し、文明の汎用性と文化の固有性の双方を尊重し、学ぶことができる人
4　継続的に外国語を学ぶことができる人。また、入学後に日本語または英語による講義が受講可能であり、外国語資料の読解および英語での交流・発表に意欲のある人
5　都市に関わる問題について、対立する意見を公正に評価し、複合的な問題について多面的にとらえ、科学的根拠に基づきながら自身の意見を述べることができる人

電子物理工学科

グローバル社会の持続可能な発展には、情報通信、エネルギー、交通等、多様な技術分野の進歩が不可欠である。これらに共通する基盤技術である、電子デバイスのさらなる高度化・高機能化、新規創成が様々な産業分野において求められている。そのような要求に応えるには、確固たる物理的基礎に立脚した電子技術に基づく、より独創的な発想が必要である。電子物理工学科は、このような社会的要請に応えるために、従来の電子工学の範疇を超える、電子材料、電子物性に力点を置いた教育を行うことで、幅広い物理的視野と電子技術の素養をもち、高い創造性を発揮できる人材を育成することを目標とする。

したがって、電子物理工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え次のような学生を求める。

1　物理学や電気・電子工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、それを幅広い工学に応用することで社会の発展に貢献する意欲をもつ人
2　論理的な思考力と豊かな想像力の獲得を目指し、勉学意欲に溢れる人
3　物質がもつ電気、磁気、光などの物理学的性質の解明と新規機能の開拓、実験的また理論的解明などの幅広い電子・物理の科学技術に強い興味を持ち、主体的かつ積極的に学修・研究する意欲に溢れる人
4　外国語能力に優れ、国際的視野をもって新たな課題を見出し、その解決に積極的に挑戦する意欲をもつ人
5　高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

情報工学科

高度にグローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に貢献するためには、情報と通信の劇的な変化に柔軟に対応していくことが必要である。そのために情報工学科では、情報の伝送・収集・蓄積から分析・活用に至るプロセスの理解を通して、基礎から最先端までの幅広い視野にたって情報工学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、論理的な思考力を併せ持つ活力のある情報技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、情報工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

1　情報工学の基礎から応用について強い関心があり、グローバル化・ネットワーク化された情報化社会の発展に寄与しようとする意欲を持っている人
2　新しい情報通信技術を創出するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
3　情報工学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって豊かな社会の構築に貢献できる人
4　高い倫理観を持ち、情報技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

電気電子システム工学科

今日の社会はグローバル化し、高度にネットワーク化された情報化社会へと革新的に移行し続けている。電気電子システム工学科では、このような社会構造の劇的な変化に柔軟に対応し、豊かで快適な日常生活を支え、発展させていくため、電気工学、通信工学、システム工学を基礎とした最先端の電気電子システム工学に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、電気電子システム工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。

1　電気電子システム工学に対する強い関心があり、専門知識と技術を体系的に学び、応用し、社会の発展に貢献する意欲をもっている人
2　電気電子システム工学に対する論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人

応用化学科

持続可能な社会の発展に貢献するためには、地球環境に調和した、人類に役立つ新しい化学物質を創出していくことが必要である。そのために応用化学科では、物質の構造、性質、反応を原子・分子レベルから理解することを通して、基礎から最先端までの幅広い視野に立って化学の教育・研究を行うことにより、豊かな人間性と高い倫理観、グローバルな視野を併せ持ち、技術革新にも適応することができる化学技術者・研究者を育てることを目標にしている。

したがって、応用化学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求めている。
1　化学の基礎と応用について強い関心があり、持続可能な社会の発展に貢献する意欲を持っている人
2　新しい物質や化学技術を創造するための論理的な思考力と柔軟な創造力の獲得をめざして、向学心に溢れる人
3　化学に関する専門知識と技術を基に、国際的視野をもって地球環境に調和した豊かな社会の構築に貢献できる人
4　高い倫理観を持ち、化学技術を利用して社会の諸問題の解決に意欲的に取り組める人

化学工学科

人類社会の持続的発展のためには、地球環境に配慮し、限りある資源の有効かつ循環的な利用が不可欠である。そのために化学工学科では、原料から化学工業製品を生産するプロセスの開発、設計および操作に関する基礎理論とその応用、すなわち、化学だけでなく生物学や物理学等にわたる広領域化、理論の高度化、精密化に関する教育・研究を行うことにより、地球環境と調和した豊かな社会の構築に貢献できる優れた技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、化学工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。
1　新しい物質の科学と技術に対する強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
2　論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
3　外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することをめざす人
4　高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人
5　高等学校における教科・科目を広く学習し、高い基礎学力を有している人
6　化学工学における諸課題に取り組むための基礎的な数学の素養、物理学の素養および化学の素養を身につけている人
7　英文を読んで理解し、書いて表現するための基礎的な能力を身につけている人
8　化学工学科のディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーを理解し自身の将来と結びつけて考える事ができる人

マテリアル工学科

現代の文明を象徴する様々な機器は、目的に応じたいくつもの「材料」によって構成されている。すなわち、時代の進歩には新しい材料の設計と開発が求められている。マテリアル工学科では、豊かな社会を築くため、最先端の材料に関する教育研究を行うことにより、幅広い視野と豊かな人間性、深い教養と厳格な倫理観をもった国際的に活躍できる技術者・研究者を育てることを目標とする。

したがって、マテリアル工学科では、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような学生を求める。
1　科学・技術の基盤であるマテリアル工学に強い関心があり、地球環境と調和した豊かな社会の発展に貢献する意欲をもっている人
2　論理的な思考力と豊かな創造力の獲得をめざし、勉学意欲に溢れる人
3　外国語能力に優れ、国際的視野をもって社会に貢献することを目指す人
4　高い倫理観をもって課題解決に意欲的に取り組む人

化学バイオ工学科

化学バイオ工学科では、物質・生命およびその変化を原子・分子レベルや遺伝子・細胞レベルで理解できる基本的考え方を身につけ、化学・バイオに関わる基礎理論と技術の実際を学ぶ。さらに、化学・バイオの先端領域で活躍し、かつ技術者としての責任感・倫理観を身につけ、広く社会に貢献できる人材を育成することを目指す。そのため、本学科ではいずれの選抜方法においても、工学部のアドミッション・ポリシーに加え、次のような人を求める。
1　化学・バイオについての基礎知識を理解できる能力を有し、意欲的に勉学に取り組める人
2　化学現象や生命現象に対する興味と探究心が強く、新技術の開発に熱意を有する人
3　実験や自然観察が好きな人
4　論理的な記述、論理的な発表力など、研究能力とともにコミュニケーション能力を高める意欲を有する人
5　幅広い教養の習得に熱意をもち、倫理観をもって行動できる人

入学者選抜の基本方針

【一般選抜（前期日程・中期日程）】

各学科に必要な素養を有していること、大学で学修するための基礎学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを、大学入学共通テストによって評価する。工学の学修・研究に必要な数学、理科（物理・化学）、英語に関する高い学力（知識・技能、思考力・判断力・表現力）を有していることを、個別学力検査の数学、理科（物理・化学）、英語によって評価する。工学の学修・研究に必要な主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度（主体性・多様性・協働性）を有していることを、調査書によって評価する。

前期日程では、総合的な学力を重視し、中期日程では専門性を重視し理系科目を重点的に評価する。

農学部

求める学生像

今日、人類は国内外の様々な課題、すなわち、エネルギー、環境、食料、健康などに関する諸問題に直面している。農学は生物の機能と生命現象の解明や応用に加えて、自然環境、自然現象の理解、また、それらの調和と持続的な利用など多岐にわたる学問分野を内包しており、人類が抱えている諸問題解決への貢献が期待されている。そこで、農学部では広範な農学に関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。

したがって、農学部では次のような学生を求めている。
1　農学について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
2　社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っ

ている人
3　幅広い興味を持ち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人
以上に基づき、各学科が求める能力や適性を持つ学生を選抜する。

応用生物科学科
応用生物科学科は、生物の多様な潜在能力を明らかにし、その成果を人類の生活に役立てるための幅広い教育を行う。このような教育を通して、生物科学を活用できる専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業･社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。
したがって、応用生物科学科では次のような学生を求めている。
1　生物科学を持続可能な社会の構築へ役立てることに対する明確な目的意識を持ち、その学びのための基礎的知識を持っている人
2　社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
3　他の専門分野とも柔軟に連携しながら、健全な社会の発展に貢献したいと考えている人
以上に基づき、次の１～５の能力や適性を持つ学生を選抜する。
1　物理、化学、生物のうち少なくとも２科目について深く学び、高い学力を有すること
2　データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
3　学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
4　その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
5　自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

生命機能化学科
生命機能化学科は、化学を基盤とした生命現象の解明と生物資源の利用に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、広範なバイオサイエンス・バイオテクノロジーに関する専門的な知識や技術を修得するとともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。
したがって、生命機能化学科では次のような学生を求めている。
1　バイオサイエンス・バイオテクノロジーについて学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、そのための基礎的知識を持っている人
2　社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
3　他の専門分野とも柔軟に連携しながら、社会の持続的発展に貢献したいと考えている人
以上に基づき、次の１～５の能力や適性を持つ学生を選抜する。
1　物理、化学、生物のうち少なくとも２科目について深く学び、高い学力を有すること
2　データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
3　学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容発表のために必要な英語や国語の基礎学力と論理的な思考力を備えていること
4　その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
5　自ら積極的に考えて表現することができ、かつ多様な分野に興味と関心を持ち、課題の発見とその解決のために他者と協働して行動できること

緑地環境科学科
緑地環境科学科は、生命の基盤となる農地や自然地、生活の基盤となる都市の緑地について、その保全・創成に関する幅広い教育を行う。このような教育を通して、緑地環境の保全と創成についての専門的知識や技術とともに、豊かな教養と問題解決能力、高い倫理観や創造力を身に付けた、産業・社会の持続的発展と学術の進歩に貢献できる専門職業人の育成をめざす。
したがって、緑地環境科学科では次のような学生を求めている。
1　緑地環境の保全と創成について学ぶことに対する明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人
2　社会における複雑な課題の発見とその解決のために、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する基礎的能力を持っている人
3　幅広い興味をもち、自ら進んで学ぶ探求心を持っている人
以上に基づき、次の１～５の能力や適性をもつ学生を選抜する。
1　物理、化学、生物のいずれかについて深く学び、高い学力を有すること
2　データ解析などに必要な数学の基礎学力を身に付けていること
3　学術雑誌の内容の理解、レポート作成、研究内容の発表のための英語や国語の基礎学力を身に付けていること
4　その他の教科・科目について幅広い知識を有すること
5　自ら進んで学ぶための主体性を有し、自ら深くかつ論理的に思考して判断し、表現する能力と学内外の社会的な活動に参加しうる多様性・協働性を備えていること

入学者選抜の基本方針
【一般選抜（前期日程）】
応用生物科学科／生命機能化学科
大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト、調査書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも２科目について深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科、個別学力検査の理科によって評価する。数学

の基礎学力を備えていることを、大学入学共通テストの数学、個別学力検査の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語、国語、個別学力検査の英語によって評価する。主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を、調査書により評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト、調査書によって評価する。物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科、個別学力検査の理科によって評価する。数学の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの数学で評価し、論理的な思考力、判断力及び表現力を有していることを、個別学力検査の数学によって評価する。英語や国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語、国語、個別学力検査の英語によって評価する。学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を、調査書によって評価する。

【一般選抜（後期日程）】

応用生物科学科／生命機能化学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、大学入学共通テスト及び調査書によって評価する。物理、化学、生物のうち少なくとも２科目について深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科及び個別学力検査の小論文によって評価する。数学の基礎学力を備えていることを、大学入学共通テストの数学によって評価する。英語や国語の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）と国語、及び個別学力検査の小論文によって評価する。小論文ではさらに、柔軟で論理的な思考力・判断力・表現力ならびに主体的な問題解決能力を評価する。

緑地環境科学科

大学で学修するための基礎学力を有していることを、調査書によって評価する。物理、化学、生物のいずれかについて深く学んでいることを、大学入学共通テストの理科によって評価する。英語や国語、数学の基礎学力を有していることを、大学入学共通テストの外国語（英語）、国語、数学によって評価する。学修のための主体性、社会活動のための多様性・協働性を、調査書によって評価する。

獣医学部

求める学生像

本学部は、本教育課程を卒業するためには、基礎獣医学、病態獣医学、応用獣医学と臨床獣医学の各科目群の習得を課すと共に、加えて獣医師としての実践能力と動物生命科学者としての研究能力を醸成させる教育を行う。このような教育を通して、単なる動物の専門家たる獣医師ではなく、動物生命科学の専門性を有しつつも、国際社会が抱える人文科学分野、生命科学分野の諸問題の解決能力をも有する人材の育成を目指す。

したがって、本学部・学科では、次のような学生を求める。

１　動物に対する先端医療、人間と動物の共生、国内及び国際的に問題となっている感染症、及び安全な食料の安定供給について学ぶことに対し明確な目的意識を持ち、社会の持続的発展に貢献する意欲を持っている人

２　生物学、科学全般に幅広い興味を持ち、論理的な思考力・判断力・表現力と自ら進んで学ぶ探求心を持っている人

以上に基づき、次の１～３の能力や適性をもつ学生を選抜する。

１　大学入学共通テストを課すことによって、高等学校教育において習得すべき科目の内容を広く学習し、高い基礎学力を有していることを確認する。

２　個別学力検査によって、数学、英語、生物学、物理学、化学に関する思考力・判断力・表現力を確認する。

３　特別選抜では、調査書、推薦書、志願理由書、活動報告書、英語４技能試験成績証明書、面接、小論文等により、獣医師としての適性、論理的な思考力、科学全般への幅広い興味や自ら進んで学ぶ探求心、さらに多様な人々と協働して学ぶ態度や国際的な視野を持っているかを確認する。

入学者選抜の基本方針

一般選抜前期日程では高い基礎学力と論理的な思考力・判断力・表現力を有する学生を求める。

医学部

求める学生像

医学科

医学科のディプロマ・ポリシー及びカリキュラム・ポリシーの基礎となっている、「智・仁・勇」の三つの基本理念を理解する素地を有する下記の学生を求めている。

・智は医学を推進する旺盛な向学心と知識を意味し、これらを有している人

・仁は人への博愛の心を意味し、人を包みこむ広い心を有している人

・勇は医療を実践する決断の勇気を意味し、積極的な行動を起こせる人

これらの基本理念を有し、自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望する。

リハビリテーション学科

人が地域社会において健康で文化的な生活を営むためには、身体的、精神的、社会的に良好な状態で生活できることが大切である。ライフステージで生じる子育て、教育、医療、介護等の問題は複雑で多様化している。その中において保健・医療・福祉の領域では、複雑化したシステムと専門分化した知識・技術を根幹にあるべきヒューマニズムと調和、発展させることが求められている。リハビリテーション学科では、理学療法士、作業療法士として、人と社会に対する包括的視野と、人を支援する専門的でかつ協働的な実践力を身に付け、地域社会及び国際社会において人々の健康と福祉の向上に寄与する人材を養成する。

したがって、リハビリテーション学科では、次のような有能で活力ある学生を求めている。

１　人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人

２　学問に対する興味と探究心をもち、知識と技術の習得に積極的に取組む人

3　将来、リハビリテーションを総合的にとらえることのできる理学療法士、作業療法士として、人々の保健・医療・福祉に貢献しようとする熱意をもった人
4　国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人

≪理学療法学専攻≫
理学療法学は、病気、けが、高齢等によって運動機能が低下した状態にある人々に対し、身体機能を科学的に評価して治療する理論と技術の体系である。理学療法では、相手の立場を思いやる豊かな感性と、高度な問題解決能力が求められる。理学療法学専攻では、身体の構造や機能及び疾病に関する幅広い学問を修得し、リハビリテーション医療や地域医療の最前線に立ち得る高度な専門的能力、総合判断力、研究能力を有した理学療法士を養成する。
したがって、理学療法学専攻では次のような学生を求めている。
1　人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
2　身体機能や運動を科学することに強い関心をもち、知識と技術の習得に積極的に取り組む人
3　将来、理学療法士として、リーダーシップを発揮し、保健、医療、福祉、研究、教育の分野に積極的に貢献しようとする熱意をもった人
4　国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人
また、理学療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能、他者理解とコミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、理学療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

≪作業療法学専攻≫
作業療法学は、乳幼児から高齢者までの身体や精神に障がいのある方々、またはそれが予測される方々の主体的な日常生活能力・社会適応能力の獲得を目的とした治療、指導の理論と技術の体系である。作業療法では、対象者（児）の機能だけでなく、個人の考えや生活環境、社会環境を把握する能力も求められる。作業療法学専攻では、人々の活動と心身機能、環境との関係、脳の働き、発達や老化等の知識に基づく実践技術と研究能力、さらに対象者（児）に寄り添う「こころ」を有し、地域社会の保健、医療、福祉及び教育分野においてリーダーシップを発揮できる作業療法士を養成する。
したがって、作業療法学専攻では次のような学生を求めている。
1　人との関わりを大切にし、相手に対する思いやりや愛情を適切に表現できるとともに、相手の主張や気持ちを受けとめる包容力をもった人
2　人々の作業と健康に高い関心をもち、作業療法の知識と技術の習得に積極的に取り組む人
3　将来、作業療法士として地域社会の保健、医療、福祉、研究、教育に貢献しようとする熱意をもった人
4　国際的視野をもって広く社会に貢献することをめざす人
また、作業療法学専攻では、文理ともに広く学習し、英文を読解し、英文で表現するための知識・技能を有し、他者理解とコミュニケーションの基礎となる思考力・判断力・表現力、さらに、作業療法学を学ぶ上で必要となる主体性・多様性・協働性を有している学生を選抜する。

入学者選抜の基本方針
【一般選抜（前期日程）】
医学科
個別学力検査（数学・理科・外国語）では、医学科の学修に十分対応できる知識に基づいた思考力・判断力・表現力を確認する。さらに個別面接を行い、「智・仁・勇」の基本理念を有する医師・医学研究者となりうる資質について確認する。
リハビリテーション学科　≪理学療法学専攻≫≪作業療法学専攻≫
高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い知識・技能を有していることを、大学入学共通テストによって評価する。思考力・判断力・表現力及び主体性・多様性・協働性を有していることを、面接、調査書によって評価する。さらに、英文を読解し、英文で表現するための基礎的な知識・技能を有していることを、個別学力検査の英語によって評価する。

【一般選抜（後期日程）】
リハビリテーション学科　≪理学療法学専攻≫≪作業療法学専攻≫
高等学校における教科・科目を文理ともに広く学習し、高い知識・技能を有していることを、大学入学共通テストによって評価する。思考力・判断力・表現力及び主体性・多様性・協働性を有していることを、面接及び調査書によって評価する。

看護学部

求める学生像
本学部の学位授与方針及び教育課程編成や実施方針を踏まえ、人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、人の立場を思いやり援助することを志向し、保健医療福祉の発展や持続可能な社会の実現に貢献しようとする志を持つ向学心旺盛で優れた資質を有する学生を受け入れるため、次のような学生を求める。
（1）求める学生像
1　論理的・創造的な思考を表現できる基礎学力を有する人
2　目的意識をもって積極的に学ぶ姿勢を有する人
3　人々の生活に深い関心をもち、他者と喜び、苦しみ、痛みを分かち合い、生命の尊厳について理解しようとする熱意を有する人
4　人間性豊かで多様な関心や柔軟な思考力をもち、主体性と協調性をもって他者と協働する姿勢を有する人
5　看護の実践をとおして保健医療福祉の向上に寄与する意志を有する人
6　大学院等で、さらに高度な専門的知識と能力を身につけ、指導的立場を担う研究教育者や高度看護実践者を目指す意欲を

有する人
以上に基づき、次の能力や適性を身につけた学生を選抜する。

（２）入学前能力
１）意欲
価値観や思考過程の多様性をみとめながら、協調性をもって主体的に学ぶことができ、看護の実践をとおして、社会に貢献する意欲をもっていること
２）能力
多様な学問分野に支えられている看護に必要な知識や技術を体系的に修得でき、論理的・創造的な思考を表現できる幅広い基礎学力をもっていること
３）志向
人間の喜び、苦しみ、痛みを分かち合え、生命の尊厳について理解しようとする姿勢をもっていること

（３）入学後能力
入学前の能力をさらに伸ばし、教育目標に定められた資質を身につける意欲があること

入学者選抜の基本方針
【一般選抜（前期日程・後期日程）】
大学入学共通テストで、高等学校教育段階において目指す基礎学力を有していることを確認する。個別学力検査では、看護学部での学修に十分対応できる、知識に基づいた思考力・判断力・表現力などの準備性をそれぞれ確認し、面接では、意欲・能力・志向を確認し、総合的に評価する。

生活科学部

求める学生像
生活科学部は「健康」「環境」「福祉」を基礎概念とし、生活を取り巻く３分野を研究対象とする食栄養学科、居住環境学科、人間福祉学科の３学科から構成され、分野横断的な教育研究を行う。既知の問題を効率的に解く能力だけでなく、人間生活の多様な側面を新たな視点や感性によって捉え、自ら問題を発見して解決策を見出すことのできる人材の育成を目指す。
したがって、生活科学部では、次のような学生を求めている。
・本学部の学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
・学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
・自己学習や協働を通して学問を探究し、自らの経歴を形成することができる人

食栄養学科
安全、安心な食環境の創造を通じた健康増進のために、食・栄養学をはじめ、化学、生物、物理、数学、英語などの基礎学力や、根拠に基づくプレゼンテーションや討論の技能を有し、社会や地域の食・栄養問題を解決することのできる人材の育成を目指す。
したがって、食栄養学科では、次のような学生を求めている。
１　食・栄養に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
２　学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
３　自己学習や協働を通して食品栄養科学や栄養生命科学を探究し、自らの経歴を形成することができる人

居住環境学科
新たな居住環境の創造のために、居住環境学をはじめ、科学、技術、工学、数学などの基礎学力や、根拠に基づくデザインやプレゼンテーションの技能を有し、社会や地域の居住環境問題を解決することのできる人材の育成を目指す。
したがって、居住環境学科では、次のような学生を求めている。
１　居住環境に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意志を有する人
２　学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
３　自己学習や協働を通して学問や居住空間のデザインを探究し、自らの経歴を形成することができる人

人間福祉学科
人口構造や社会構造の変化、地域社会の変貌にともなって生起する現代の生活課題を正確に把握し、多様で深刻な個人及び地域の課題に対応できる人材の養成を目指す。
したがって、人間福祉学科では、次のような学生を求めている。
１　人間福祉に関する学問分野に興味を持ち、将来にわたって学習を継続する意思を有する人
２　学習のための基礎的能力を有し、論理的な思考を行うことができる人
３　自己学習や協働を通して、人とかかわり、人を支えることに関心をもち、福祉課題を探求し、自らの経歴を形成することができる人

入学者選抜の基本方針
ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーで示した（知識・理解）、（技能）、（実践的姿勢）、（統合的な学修経験と創造的思考力）の目標を達成するための基礎が備わっていることを確認するために、次の「学力の３要素」に関する成果に基づいて入学者選抜を行う。
１　知識・技能
大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。

２　思考力・判断力・表現力等の能力
大学入学共通テストおよび個別学力検査等において一定の水準の成績を収めている。
３　主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
口述試験や志望理由書等の内容が優れている。

※各学部・学域等の詳細（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー）は、以下をご参照ください。

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/policy.html

〔１〕試験方式・日程

大阪公立大学の一般選抜は、分離分割方式の前期日程・後期日程及び公立大学中期日程により実施します。

注意事項

1　同一日程に属する国公立大学（ただし、独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ）への併願はできません（本学の他学部・学域を含む）。異なる日程に属する国公立大学への併願は可能です（本学の他学部・学域を含む）。

2　前期日程試験に合格し、所定の期日までに入学手続を行った者は、公立大学中期日程試験又は後期日程試験を受験していてもその合格者となりません。

3　国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学の辞退を許可された場合を除いて、本学個別学力検査等を受験しても合格者となりません。

4　本学の専門学科・総合学科卒業生特別選抜の受験者は、本学を含む国公立大学の公立大学中期日程及び後期日程を併願することができます。また、本学で実施している大学入学共通テストを利用する学校推薦型選抜及び総合型選抜の受験者は、本学を含む国公立大学の前期日程、公立大学中期日程及び後期日程を併願することができます。この場合、いずれも大学入学共通テストの必要教科・科目を受験しておく必要があります。ただし、専門学科・総合学科卒業生特別選抜に合格した者については上記２と、また、学校推薦型選抜又は総合型選抜に合格した者は上記３と、同じ扱いとなります。

項目	前期日程	後期日程	公立大学中期日程
出願期間	2022 年１月 24 日（月）～２月４日（金）		
第１段階選抜 結果発表日	２月 14 日（月）	２月 18 日（金）	
個別学力検査等 実施日	２月 25 日（金） ２月 26 日（土）（注１）	３月 12 日（土）	３月　８日（火）
合格者発表日	３月　９日（水）	３月 22 日（火）	３月 23 日（水）
入学手続指定日	３月 14 日（月） ３月 15 日（火）（注２）	３月 26 日（土） ３月 27 日（日）（注２）	

（注１）２月 26 日（土）は、医学部医学科のみ面接を実施

（注２）学部・学域等によって日時に指定があります。詳細は 57 ページを参照してください。

※個別学力検査等の特別日程試験については、「〔15〕新型コロナウイルス感染症等に係る個別学力検査等の特別日程試験について」（63～65 ページ）を参照してください。特別日程試験は対象者・申出期限等に制限があります。

〔２〕募集人員

各学部・学域等の募集人員は 18～19 ページのとおりです。

募集方法及び学科等の決定に関する注意事項

1　全学部・学域共通

・各特別選抜の詳細は、必ず該当する選抜の学生募集要項を確認してください。

・文学部、法学部、経済学部、商学部、獣医学部、看護学部は、学部単位で募集します。理学部、工学部、農学部、医学部医学科、生活科学部は、学科単位で募集します。医学部リハビリテーション学科は、専攻単位で募集します。現代システム科学域は、学域単位又は学類単位で募集します。

・特別選抜の募集人員「若干名」は、募集する学部・学域等の「一般選抜前期日程」の募集人員に含みます。

2　現代システム科学域

・「一般選抜前期日程」の一部及び「一般選抜後期日程」「国際バカロレア特別選抜」「ユネスコスクール特別選抜」「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）特別選抜」「帰国生徒特別選抜」は学域単位で募集します。

・学域単位入学生の学類の決定は第１年次の３月末までに行います。なお、志望者多数の学類では、学類定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学類に進めない場合があります。

・未来デザインコース（FDC）は、学域単位入学生を対象に、第１年次の３月末までに履修者を決定しますが、志望者が 15 名を超える場合は、第１年次の３月末までの成績と、コースでの学習計画を示す提出書類（未来デザイン計画）により選考を実施します。そのため、志望してもこのコースを履修できない場合があります。

3　文学部

・学科・コースの決定は第１年次の１月までに行います。決定に際して、志望者多数の学科・コースでは、学科定員と標準所属者数を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科・コースに進めない場合があります。また、社会調査士、認定心理士、公認心理師の資格は、指定するコースに所属しなければ取得することができません。

4　商学部

・「学校推薦型選抜＜商業科等対象＞」は、出願要件に地域等の制限があります。

・学科の決定は第２年次の前期に行います。なお、志望者多数の学科では、学科定員を基準として、選抜を実施します。そのため、志望する学科に進めない場合があります。

5　理学部

・「一般選抜前期日程」では、出願時に第３志望まで学科を選択できます。

6　工学部

・「一般選抜前期日程」「一般選抜公立大学中期日程」では、出願時に第３志望まで学科を選択できます。ただし、「一般選抜公立大学中期日程」は、各学科が＜第１類＞＜第２類＞＜第３類＞のいずれかのグループに属し、第２、第３志望は第１志望と同じグループの学科からのみ選択できます（40～43 ページに分類を記載）。

・建築学科の「学校推薦型選抜」は、指定校制です。

・都市学科の「学校推薦型選抜」は、出願要件に地域等の制限があります。

7　医学部

・医学科の「一般選抜前期日程」では、「一般枠」として 75 名、「大阪府指定医療枠」として５名を募集し、第２志望まで枠を志望することができます（別表３（54 ページ）参照）。

・医学科の「学校推薦型選抜」は、出願要件に地域等の制限があります。

8　生活科学部

・食栄養学科は入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。入試の型が「均等型」の場合、２年次・３年次は羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合、２年次・３年次は杉本キャンパスとなります。１年次は入試の型に関係なく杉本キャンパス、４年次は森之宮キャンパスの予定です。なお、２年次・３年次のキャンパスが異なっても修学上の差はありません。

・人間福祉学科の資格取得に係る実習・演習科目の履修は、学内選抜による定員制です。

（募集人員）

学部・学域	学科・学類・専攻	入学定員	一般選抜			特別選抜										募集人員欄に＊印を付している選抜には、受験区分があります。 募集人員の内訳は以下のとおりです。
			前期日程	後期日程	公立大学中期日程	専門学科・総合学科卒業生特別選抜	総合型選抜	国際バカロレア特別選抜	学校推薦型選抜	産業動物獣医師地域枠特別選抜	ユネスコスクール特別選抜	SSH特別選抜	帰国生徒特別選抜	社会人特別選抜	私費外国人留学生特別選抜	
現代システム科学域	知識情報システム学類	50	40	—	—	—	—	—	＊ 10	—	—	—	—	—	若干名	【推薦】 文系型:5 理系型:5
	環境社会システム学類	70	＊ 50	—	—	—	—	—	20	—	—	—	—	若干名	若干名	【一般(前期)】 英・国型:30 理・数型:20
	教育福祉学類	45	30	—	—	—	6	—	9	—	—	—	—	若干名	若干名	
	心理学類	35	＊ 30	—	—	—	—	—	5	—	—	—	—	—	若干名	【一般(前期)】 英・国型:20 理・数型:10
	現代システム科学域（学域単位募集）	60	＊ 20	35	—	—	—	＊ 5	—	—	若干名	若干名	若干名	—	—	【一般(前期)】 英・数型:5 英・国型:5 英・小論型:5 理・数型:5 【バカロレア】 第１次募集:3 第２次募集:2
	計	260	170	35	—	—	6	5	44	—	若干名	若干名	若干名	若干名	若干名	
文学部	哲学歴史学科	160	125	30	—	—	—	若干名	—	—	—	—	5	—	若干名	
	人間行動学科				—	—	—		—	—	—	—		—		
	言語文化学科				—	—	—		—	—	—	—		—		
	文化構想学科				—	—	—		—	—	—	—		—		
	計	160	125	30	—	—	—	若干名	—	—	—	—	5	—	若干名	
法学部	法学科	180	155	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	計	180	155	25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
経済学部	経済学科	295	185	＊ 50	—	—	—	—	＊ 60	—	—	—	—	—	若干名	【一般(後期)】 高得点選抜:35 ユニーク選抜:15 【推薦】 英語重点型:38 数学重点型:22
	計	295	185	50	—	—	—	—	60	—	—	—	—	—	若干名	
商学部	商学科	270	198	18	—	6	—	—	＊ 48	—	—	—	—	—	若干名	【推薦】 <商業科等対象>8 英語重点型:25 数学重点型:15
	公共経営学科				—		—	—		—	—	—	—	—		
	計	270	198	18	—	6	—	—	48	—	—	—	—	—	若干名	
理学部	数学科	40	30	10	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	—	若干名	
	物理学科	76	52	17	—	—	—	—	7	—	—	—	若干名	—	若干名	
	化学科	85	60	13	—	—	—	—	12	—	—	—	若干名	—	若干名	
	生物学科	40	23	8	—	—	—	—	9	—	—	—	若干名	—	若干名	
	地球学科	24	16	4	—	—	—	—	4	—	—	—	若干名	—	若干名	
	生物化学科	34	23	6	—	—	—	—	5	—	—	—	若干名	—	若干名	
	計	299	204	58	—	—	—	—	37	—	—	—	若干名	—	若干名	

・募集人員欄に＊印を付している選抜には、受験区分があります。募集人員の内訳は表の最右列に記載しています。

・17ページの注意事項も確認してください。

学部・学域	学科・学類・専攻	入学定員	一般選抜 前期日程	一般選抜 後期日程	一般選抜 公立大学中期日程	特別選抜 専門学科・総合学科卒業生特別選抜	特別選抜 総合型選抜	特別選抜 国際バカロレア特別選抜	特別選抜 学校推薦型選抜	特別選抜 産業動物獣医師地域枠特別選抜	特別選抜 ユネスコスクール特別選抜	特別選抜 SSH特別選抜	特別選抜 帰国生徒特別選抜	特別選抜 社会人特別選抜	特別選抜 私費外国人留学生特別選抜	募集人員欄に＊印を付している選抜には、受験区分があります。募集人員の内訳は以下のとおりです。
工学部	航空宇宙工学科	38	8	—	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	海洋システム工学科	33	10	—	19	—	4	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	機械工学科	128	49	—	76	—	—	—	3	—	—	—	—	—	若干名	
	建築学科	34	21	—	6	—	—	—	7	—	—	—	—	—	若干名	
	都市学科	50	35	—	10	—	4	—	1	—	—	—	—	—	若干名	
	電子物理工学科	108	33	—	72	—	—	—	3	—	—	—	—	—	若干名	
	情報工学科	77	24	—	53	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	電気電子システム工学科	65	21	—	44	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	応用化学科	70	15	—	52	—	—	—	3	—	—	—	—	—	若干名	
	化学工学科	38	8	—	30	—	—	—	—	—	—	—	—	—	若干名	
	マテリアル工学科	43	10	—	30	—	—	—	3	—	—	—	—	—	若干名	
	化学バイオ工学科	57	35	—	20	—	—	—	2	—	—	—	—	—	若干名	
	計	741	269	—	442	—	8	—	22	—	—	—	—	—	若干名	
農学部	応用生物科学科	50	30	10	—	—	—	—	10	—	—	—	若干名	—	若干名	
	生命機能化学科	50	30	10	—	—	—	—	10	—	—	—	若干名	—	若干名	
	緑地環境科学科	50	30	10	—	—	—	—	10	—	—	—	若干名	—	若干名	
	計	150	90	30	—	—	—	—	30	—	—	—	若干名	—	若干名	
獣医学部	獣医学科	40	35	—	—	—	—	—	5	若干名	—	—	若干名	—	若干名	
	計	40	35	—	—	—	—	—	5	若干名	—	—	若干名	—	若干名	
医学部	医学科	95	(注)80	—	—	—	5	—	10	—	—	—	—	—	—	
	リハビリテーション学科 理学療法学専攻	25	15	2	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	
	リハビリテーション学科 作業療法学専攻	25	15	2	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	
	計	145	110	4	—	—	5	—	26	—	—	—	—	—	—	
看護学部	看護学科	160	85	20	—	—	—	—	55	—	—	—	—	—	若干名	
	計	160	85	20	—	—	—	—	55	—	—	—	—	—	若干名	
生活科学部	食栄養学科	65	＊ 45	—	—	—	—	若干名	＊ 20	—	—	—	—	—	＊ 若干名	【一般(前期)】 均等型:20 理数重点型:25 【推薦】 均等型:10 理数重点型:10 【私費留学生】 均等型:若干名 理数重点型:若干名
	居住環境学科	43	34	—	—	—	—	若干名	9	—	—	—	—	—	若干名	
	人間福祉学科	45	30	—	—	—	—	若干名	15	—	—	—	—	—	若干名	
	計	153	109	—	—	—	—	若干名	44	—	—	—	—	—	若干名	
合計		2,853	1,735	270	442	6	19	5	371	若干名	若干名	若干名	5	若干名	若干名	

（注）医学部医学科前期日程の80名には大阪府指定医療枠５名を含みます。

〔３〕出願資格

本学に出願できる者は、別表１（32～49 ページ）に指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験し、次の各号のいずれかに該当する者です。

(1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び 2022 年３月卒業見込みの者

(2) 通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者及び 2022 年３月修了見込みの者

(3) 学校教育法施行規則第 150 条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者として、次の各項目のいずれかに該当する者及び 2022 年３月 31 日までにこれに該当する見込みの者

ア　外国において、学校教育における 12 年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

ウ　専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ　文部科学大臣の指定した者

オ　高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

カ　学校教育法第 90 条第２項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの

キ　本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18 歳に達したもの

（注）上記出願資格(3)キに該当する者で、他大学で資格審査を受け、令和４（2022）年度大学入学共通テストを受験した方が本学を受験する場合には、改めて本学としての審査が必要となります。必ず下記問合せ先まで事前にご連絡ください。

【問合せ先】入試課（TEL 06-6605-2141）

【申請期間】2022 年１月 17 日（月）～１月 19 日（水）

〔４〕出願手続（インターネット出願）

一般選抜の出願手続はインターネット出願により行います。

※インターネットの出願登録と入学検定料等の支払いだけでは出願手続完了にはなりません。出願書類を郵送（郵送提出期間内必着）する必要があります。

1　出願期間

インターネット出願登録期間	2022 年１月 21 日（金）10:00～２月４日（金）17:00
出願書類の郵送提出期間	2022 年１月 24 日（月）～２月４日（金） 【簡易書留郵便（速達可）にて必着】

（注）**・出願書類は本学へ直接持参しても受理できません。**

・出願書類は、インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、郵送提出期間内に郵送してください。

・郵送提出期間後に到着したものは受理できませんので、十分注意してください。ただし、２月２日（水）以前の発信局（日本国内）消印のある「簡易書留速達郵便」に限り、期間後に到着した場合でも受理します。郵便事情による不着については、原則考慮しませんので、余裕を持って出願してください。

２　出願方法

次の手順で出願を行ってください。

Step 1	Step 2	Step 3	Step 4	Step 5	Step 6
事前準備	出願サイトにアクセス	出願内容の登録	入学検定料等の支払い	出願確認票等の印刷	出願書類の郵送

Step 1　事前準備

パソコン等の動作環境	・インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は、学校・図書館・知人等のパソコン等から出願してください。
印刷環境	・郵送が必要な書類をＡ４用紙で印刷します。自宅にプリンターがない場合は、学校・図書館・知人・コンビニエンスストア等のプリンターから印刷してください。（カラー印刷推奨）
メール設定	・出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン指定を行っている場合は、メールが届かないことがあります。@sak-sak.net を受信可能なドメインとして設定してください。
顔写真データの準備	・出願登録時にアップロードする顔写真データを用意してください。 ・顔写真のデータは JPEG 形式、縦４：横３でアップロードする必要があります。（アップロードの際に拡大・縮小することが可能です。）
出願に必要な書類	・22～24 ページの「４　出願書類等」を確認の上、郵送提出期間内に間に合うようあらかじめ用意してください。
封筒	・出願書類等郵送のために、市販の角形２号封筒（縦 33.2 cm×横 24cm）を用意してください。

▼

Step 2　インターネット出願サイトにアクセス

・本学 Web サイトから、出願登録期間中にインターネット出願サイトにアクセスしてください。
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/inet-apply.html

▼

Step 3　出願内容の登録

・インターネット出願サイトの「利用案内」を必ず確認の上、出願登録を行ってください。
・出願登録完了後に登録内容の変更はできませんので、最終確認画面で登録した内容を必ず確認してください。

▼

Step 4　入学検定料等の支払い

・インターネット出願サイトの指示に従って、次の（1）～(4)のいずれかの方法で、入学検定料（30,000 円）をお支払いください。（22 ページ「３　入学検定料等の支払方法」を参照）
・入学検定料の他に、支払手数料、受験票郵送料が必要となります。

(1)	(2)	(3)	(4)
クレジットカード	コンビニエンスストア	ATM（ペイジー）	ネットバンキング

▼

Step 5　出願確認票及び宛名ラベルの印刷

・Ａ４サイズの白の用紙で印刷してください。（カラー印刷推奨）
・令和４年度大学入学共通テスト成績請求票を出願確認票の所定の欄に貼り付けてください。
・インターネット出願登録期間内に必ず印刷を完了してください。登録期間終了後は、出願確認票及び宛名ラベルの印刷が出来なくなります。

▼

Step 6	出願書類の郵送
	・出願書類を簡易書留郵便（速達可）により郵送してください。（22～24 ページの「４　出願書類等」を確認してください。） ・郵送提出期間内に出願書類が到着しなければ、出願は受理できませんので注意してください。

３　入学検定料等の支払方法

出願登録後に必要な料金は以下のとおりです。

・入学検定料　：30,000 円

・受験票郵送料：63 円

・支払手数料　：990 円

（注）各料金は試験日程ごとに必要です。

支払方法は、下記の４種類が利用可能です。詳しい支払方法については、出願登録をする際に、インターネット出願サイト内の「お支払い方法選択」で選択した支払方法の画面で確認してください。

支払方法	取扱機関等
(1)　クレジットカード	VISA、MasterCard、JCB、AMERICAN EXPRESS、Diners Club （注）支払方法は、一括払いのみです。
(2)　コンビニエンスストア	セブンイレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア、セイコーマート （注）支払方法は、現金のみです。
(3)　ATM（ペイジー）	金融機関で Pay-easy マークの付いている ATM で支払うことができます。
(4)　ネットバンキング	主要メガバンクをはじめ、Pay-easy 対応の全国 1,000 行以上のネットバンキングをご利用いただけます。 （注）ご利用には、ネットバンキングの利用契約が必要です。

４　出願書類等

インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、23 ページに記載の書類を郵送提出期間内（20 ページ参照）に郵送してください。

（注）・出願書類は、必ず「宛名ラベル」を貼り付けた市販の角形２号封筒（縦 33.2cm×横 24cm）に封入してください。「宛名ラベル」は、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトから出力できます。

・本学の複数の日程に出願する場合は、必ず試験日程（前期日程・後期日程・公立大学中期日程）ごとに出願書類を取り揃え、試験日程ごとに別々の封筒に封入し提出してください。

・（＊）マークが付いた本学所定の様式は、以下の URL からダウンロードしてください。

出願関係書類一覧 ▸▸▸

https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html

書類種別	注意事項
(1)　出願確認票（大学提出用）	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからＡ４用紙に印刷してください。 ・「令和４　共通テスト成績請求票」貼り付け欄に、大学入学共通テスト成績請求票（大学入試センター発行）を貼付してください。 ※出願する日程により、以下の請求票を貼付してください。 ・前期日程に出願　「前 国公立前期日程用」 ・後期日程に出願　「後 国公立後期日程用」 ・公立大学中期日程に出願　「公中 公立大学中期日程用」
(2)　調査書（出願資格証明書） ※旧姓（名）の調査書や証明書を使用する場合は、戸籍抄本等、姓（名）の変更が確認できる書類を併せて提出してください。	・文部科学省所定の様式により、出身学校長が作成し厳封したものを提出してください。 ※高等学校を卒業した者で、高等学校の保存期間の経過により調査書の提出ができない場合は、卒業証明書に加えて成績証明書又は単位修得証明書を提出してください。なお、成績証明書又は単位修得証明書が提出できない場合は、学校長からの「証明書が発行できない旨の文書」を提出してください。 ・出願資格が 20 ページ「〔３〕出願資格」の「(3)オ」に該当する者は、その合格（見込）成績証明書を提出してください（高等学校卒業程度認定試験受験案内も参照してください）。また、大学入学資格検定（平成 16 年度まで実施）に合格している者は、その合格成績証明書を提出してください。 ※一部免除科目のある者は、当該科目についての出身学校長の作成した調査書、又は成績証明書を併せて提出してください。 ・出願資格が 20 ページ「〔３〕出願資格」の「(3)キ」に該当する者は、調査書及び本学発行の入学資格認定通知書の写しを提出してください。 ・その他の出願資格により出願する者は、それに対応する出願資格証明となるものを提出してください。
(3)　宛名ラベル	・インターネット出願登録を行い、入学検定料等の支払い後、インターネット出願サイトからＡ４用紙に印刷の上、市販の角形２号封筒（縦 33.2cm×横 24cm）に貼り付けてください。（カラー印刷推奨）
(4)　出願する学部・学域・区分等により提出が必要な出願書類	
【現代システム科学域】 志望理由書（＊）	・現代システム科学域に出願する者は、日程・志望学類・受験区分にかかわらず、必ず志望理由書を提出してください（本学所定の様式（＊））。 ・志願者本人が記載してください（パソコン等での作成も可）。 ・志望理由には、現代社会の諸問題に対する関心との関係を含めて記載してください。
【経済学部　後期日程　ユニーク選抜】 自己推薦書（＊） 特別活動要覧（＊） 関係者推薦書（＊）	・経済学部後期日程ユニーク選抜に出願する者は、必ず自己推薦書と特別活動要覧を提出してください（本学所定の様式（＊））。関係者推薦書の提出は任意です。（別表２（52～53 ページ）参照）
【医学部医学科　前期日程「大阪府指定医療枠」】 推薦書（＊） 誓約書（＊）	・医学部医学科前期日程の「大阪府指定医療枠」に出願する者は、必ず推薦書と誓約書を提出してください（本学所定の様式（＊））。（別表３（54 ページ）参照） ・推薦書は厳封したものを提出してください。

（注）・顔写真はデータでの提出になりますので、別途送付する必要はありません。なお、顔写真のデータは、JPEG 形式、縦４：横３でアップロードする必要があります。（アップロードの際に拡大・縮小することが可能です。）詳細は出願登録サイトの案内を確認してください。
・受験票送付用の返信用封筒は必要ありません。
・調査書及び医学部医学科前期日程「大阪府指定医療枠」の推薦書以外は、厳封不要です。

【出願書類サンプル】

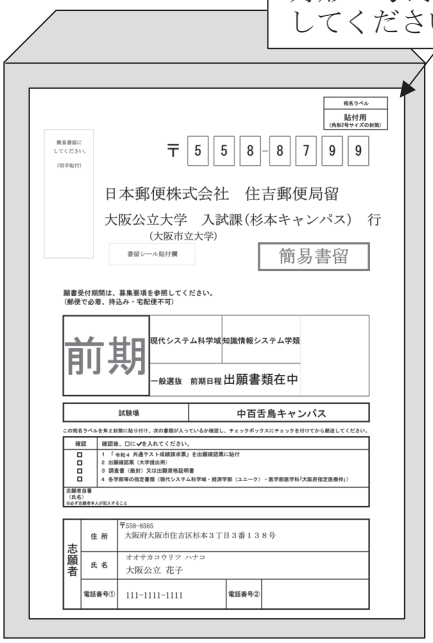
(1) 出願確認票（大学提出用）

「大学提出用」であることを確認してください。

「大学入学共通テスト成績請求票」を貼付してください。
※出願する日程の請求票であることを必ず確認してください。

(3) 宛名ラベル

角形２号封筒に貼付してください。



５　出願についての注意

(1) 出願にあたっては、各学部・学域等が指定する令和４（2022）年度大学入学共通テストの教科・科目（別表１（32～49 ページ））を受験していることを、必ず確認してください。受験した教科・科目数が不足している場合や、科目選択にかかる注意事項（50～51 ページ参照）が守られていない場合は、無資格となり、個別学力検査等は受験できません。

(2) 学科・学類・専攻等の選択について

・現代システム科学域前期日程は、学域単位又は学類単位で募集します。環境社会システム学類、心理学類及び学域単位募集の志願者は、出願登録時に、受験区分（型）も選択してください。なお、後期日程は学域単位のみ募集します。

・経済学部後期日程の志願者は、出願登録時に、「高得点選抜」「ユニーク選抜」のいずれかを選択してください。

・理学部、工学部、農学部、医学部、生活科学部の志願者は、出願登録時に、志望する学科を選択してください。

（注）・理学部前期日程、工学部前期日程及び工学部中期日程の志願者は、出願登録時に、第３志望まで志望する学科を選択できます。志望しない場合は、「選択しない」を選択してください。ただし、工学部中期日程は、各学科が＜第１類＞＜第２類＞＜第３類＞のいずれかのグループに属し、第２、第３志望は第１志望と同じグループの学科からのみ選択できます（40～43 ページに分類を記載）。

・医学部医学科の志願者は、出願登録時に、「一般枠」「大阪府指定医療枠」（別表３（54 ページ）参照）の第２志望まで選択できます。志望しない場合は、「選択しない」を選択してください。

・医学部リハビリテーション学科の志願者は、出願登録時に、志望する専攻まで選択してください。

・生活科学部食栄養学科の志願者は、出願登録時に、受験区分（型）を選択してください。なお、入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。詳細は 17 ページを確認してください。

・看護学部前期日程及び生活科学部人間福祉学科の志願者は、出願登録時に、「選択教科」を選択してください。

(3) 試験会場について

・工学部中期日程の志願者は、出願登録時に、受験を希望する試験会場（中百舌鳥キャンパス、名古屋試験場）を選択してください。名古屋試験場はインターネット出願登録の先着順での受付となり、定員に達した場合は中百舌鳥キャンパスでの受験となりますのでご了承ください。出願登録完了後の試験場の変更はできません。また、当日は受験票に指定されている試験場以外での受験も認めません。

・工学部中期日程以外の志願者は、指定のキャンパス（31 ページ参照）にて受験してください。

(4) 志願者情報の入力について

・氏名は、大学入学共通テスト受験票に記載のとおり入力してください。

・生年月日は、戸籍又は住民票に記載のとおり入力してください。

・住所は、受験票送付時点（日程は 26 ページ「6　受験票等の送付」参照）で郵便物の受領可能な住所を入力してください。合格者発表時点の住所が異なる場合は、２月 28 日（月）までに入試課（TEL 06-6605-2141）に申し出るか、郵便局に転居届を提出してください。

(5) 出願登録完了後は、出願登録内容を変更することはできません。また、出願受理後の出願取り消しは、一切認めません。

(6) 出願確認票に記載されている「出願受付番号」は受験番号ではありません。

(7) 提出された出願書類は、一切返却しません。

(8) 出願登録時に提出された顔写真データが規格に合わない場合は、再提出になることがあります。

(9) 出願期間内に、出願登録、入学検定料等の支払い、出願書類の郵送（簡易書留郵便にて郵送提出期間内に必着）の全ての手続を行う必要があります。出願登録と入学検定料等の支払いを行っただけでは出願手続は完了しません。

(10) 大学入学共通テスト成績請求票の使用区分誤りなど、出願書類に不備等があるものは受理できないことがあります。不備等について、出願登録時に入力された電話番号やメールアドレスに連絡することがありますので、必ず連絡可能な連絡先を登録してください。なお、メールを見なかったことにより不利益を被ったとしても本学は責任を負いません。

(11) 既納の入学検定料は次の事由以外では還付しません。

【還付可能な事由】

・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合

・出願書類が不備等により受理されなかった場合

・重複して入学検定料を払い込んだ場合

還付方法等は、2022 年３月末までに本学 Web サイト（https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/page.html）で確認いただくか、入試課（TEL 06-6605-2141）に問い合わせてください。

ただし、２段階選抜を実施した学部・学域等の第１段階選抜不合格者及び大学入学共通テスト受験科目不足による出願無資格者に対しては、入学検定料 30,000 円のうち 26,000 円を還付します。この還付方法等は、該当者に対して通知します。

6　受験票等の送付

出願手続を完了した者には、以下の日程で受験票を発送します。（後期日程で個別学力検査等を課さない学部等についても受験票を送付します。）

①前期日程　　2022 年２月 14 日（月）

②中期日程・後期日程　2022 年２月 18 日（金）

（注）・第１段階選抜不合格者には、「不合格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を送付します。２段階選抜については 27～28 ページを参照してください。

・①、②にかかわらず、大学入学共通テスト受験科目の不足による出願無資格者には、「失格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を２月 14 日（月）に送付します。

・以下の日程を過ぎても上記書類が到着しない場合や、受験票の記載事項に誤りがある場合は、入試課（TEL 06-6605-2141）に申し出てください。

①前期日程　　2022 年２月 17 日（木）

②中期日程・後期日程　2022 年２月 27 日（日）

・受験票は入学手続等で必要となりますので、大切に保管しておいてください。

7　出願に関する問合せ先

＜インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払い方法に関する問合せ＞

大阪公立大学インターネット出願サポートセンター

電話番号：インターネット出願サイトでお知らせします。

受付期間：2022 年１月 21 日（金）～2022 年２月４日（金）

受付時間：9:00～19:00（２月４日（金）は 17:00 まで）

＜入試に関する問合せ＞

大阪公立大学　入試課

電話番号：06-6605-2141

受付時間：月～金曜日（祝日及び休業日を除く。）9:00～17:00

〔５〕受験上・修学上の配慮について

1　受験上の配慮にかかる事前相談等

障がいがある等で、受験上の配慮を希望する者は、事前相談の手続を行ってください。

(1) 相談の方法

下記(3)の問合せ先に連絡の上、本学所定の申請書（原則として医師の診断書等添付）を提出することとし、必要な場合は入学志願者・保護者又はその立場を代弁しうる出身学校関係者等との面談を行います。

(2) 事前相談及び申請期間　　～2021 年 12 月 16 日（木）

（注）上記期間以降においても可能な限り対応しますが、申請内容によっては、時間を要することがありますので、できるだけ早い時期に申し出てください。

(3) 受験上の配慮に関する申請先及び問合せ先

大阪公立大学　入試課

TEL：06-6605-2141　E-mail：nyusi2@ao.osakafu-u.ac.jp

2　修学上の配慮や支援に関する相談等

修学上の合理的配慮は、入学後の申請に基づき決定します。したがって受験上の配慮内容が必ずしも修学上の合理的配慮として認められるものではありません。

ただし、受験前（出願前）も修学上の配慮や支援に関する相談は受け付けますので、受験を検討するにあたり相談を希望される方は、下記に問い合わせてください。

【修学上の配慮に関する問合せ先】

現代システム科学域・工学部・農学部・獣医学部・医学部リハビリテーション学科・看護学部志願者

＜中百舌鳥キャンパス　アクセスセンター＞

https://opuac.ao.osakafu-u.ac.jp/

TEL：072-254-9867　E-mail：opuac@ao.osakafu-u.ac.jp

文学部・法学部・経済学部・商学部・理学部・医学部医学科・生活科学部志願者

＜杉本キャンパス　障がい学生支援室＞

https://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/disability_support

TEL：06-6605-3650　E-mail：stu-ocusgs@list.osaka-cu.ac.jp

〔６〕選抜方法

1　選抜方法について

(1) 令和４（2022）年度大学入学共通テストの成績、個別学力検査等（口述試験等を含む。）の成績、調査書などにより総合判定します。具体的な教科・科目及び配点は別表１（32～49 ページ）のとおりです。50～51 ページの注意事項も必ず確認してください。また、経済学部後期日程については別表２（52～53 ページ）、医学部医学科前期日程については別表３（54 ページ）も確認してください。

(2) 次の者は、合格判定の対象にはなりません。

・令和４（2022）年度大学入学共通テストで指定した教科・科目を受験しなかった者

・個別学力検査等で指定した教科・科目を受験しなかった者

・国公立大学の一般選抜前期日程の合格者で、入学手続を行った者（公立大学中期日程及び後期日程の合格判定対象者にならない。）

・国公立大学の学校推薦型選抜又は総合型選抜の合格者で、入学手続を行った者及び当該大学の許可を得ずに入学を辞退した者

（注）大学入学共通テストで各学部・学域等が指定する教科・科目を１科目でも受験しなかった場合は失格となり、個別学力検査等は受験できませんので、十分注意してください。

(3) ２段階選抜について

ア　２段階選抜の実施について

・医学部医学科を除く各学部・学域等において、志願者数が募集人員に対して次の表に掲げる倍率を超えた場合は、２段階選抜を実施することがあります。その場合、第１段階選抜は、各学部・学域等が指定する大学入学共通テストの成績（教科・科目及び配点は 32～49 ページのとおり）の高得点順により行い、その合格者に対して個別学力検査等を課します。

・医学部医学科は、志願者数にかかわらず大学入学共通テストの成績により２段階選抜を実施します。医学部医学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目（46～47 ページ参照）の成績の総点（※）が 900 点満点中 650 点以上の者を第１段階選抜合格者とし、個別学力検査等を課します。

（※）素点を用います。ただし、外国語の「英語」は 200 点満点（リーディング 100 点満点、リスニング 100 点満点）のため、リスニングを免除された者については、リーディング 100 点を 200

点に換算します。

・第１段階選抜は募集を行う単位（学部・学域、学科・学類、専攻、受験区分）で行います。ただし、理学部前期日程、工学部前期日程及び工学部中期日程は学部単位で実施します。

（表）２段階選抜の実施に係る倍率

学部・学域等		前期日程	後期日程	公立大学 中期日程
現代システム科学域		６倍	17 倍	
文学部		６倍	17 倍	
法学部		６倍	11 倍	
経済学部		６倍	（注２） ―	
商学部		６倍	（注２） ―	
理学部		６倍	17 倍	
工学部		６倍		12 倍
農学部		６倍	（注２）17 倍	
獣医学部		６倍		
医学部	医学科	（注１）		
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	６倍	17 倍	
看護学部		６倍	17 倍	
生活科学部		６倍		

（注１）医学部医学科は、志願者数にかかわらず大学入学共通テストの成績により実施します。

（注２）経済学部後期日程、商学部後期日程、農学部緑地環境科学科後期日程では２段階選抜を実施しません。

イ　第１段階選抜の結果発表について

・第１段階選抜の結果発表日時

①前期日程　　2022 年２月 14 日（月）10:00

②中期日程・後期日程　2022 年２月 18 日（金）10:00

・上記の日時に、２段階選抜の実施状況（実施の有無）、及び第１段階選抜結果の確認方法を、本学 Web サイトの「重要なお知らせ」に掲載します。上記の日時以降であれば、インターネット出願サイトから第１段階選抜の結果を確認できます（２段階選抜を実施した学部・学域等のみ）。確認には、大学入学共通テストの試験場コード、受験番号、生年月日が必要となります。第１段階選抜の合格者には「受験票」を、不合格者には「不合格通知書」及び「入学検定料還付申請書・口座振替申出書」を、それぞれ発表日に発送します。

(4) 複数学科志望の取扱いについて

理学部前期日程、工学部前期日程及び工学部中期日程では、出願時に第３志望まで学科を選択できます。ただし、工学部中期日程は、各学科が＜第１類＞＜第２類＞＜第３類＞のいずれかのグループに属し、第２、第３志望は第１志望と同じグループの学科からのみ選択できます（40～43 ページに分類を記載）。

合格者の決定においては、対象となる受験者全員の成績上位者から順に、志望する学科への合格判定を行います。第１志望学科で既に合格者人員が充たされており、かつ、第２志望学科で合格者人員が充たされていない場合は、第２志望学科での合格となります。第１・第２志望学科で既に合格者人員が充たされており、かつ、第３志望学科で合格者人員が充たされていない場合は、第３志望学科での合格となります。

２　個別学力検査等時間割

（1）前期日程

学部・学域等		2022 年２月 25 日（金）			２月 26 日（土）	試験会場
現代システム科学域	知識情報システム学類 現代システム科学域（英・数型）	—	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:40 （120 分）	—	中百舌鳥キャンパス
	環境社会システム学類（英・国型） 心理学類（英・国型） 現代システム科学域（英・国型）	国語 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	—	—	
	環境社会システム学類（理・数型） 心理学類（理・数型） 現代システム科学域（理・数型）	理科 10:20～11:50 （90 分）	—	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	
	教育福祉学類 現代システム科学域（英・小論型）	小論文 9:50～11:50 （120 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	—	—	
文学部		国語 9:50～11:50 （120 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	—	—	杉本キャンパス
法学部		国語 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	—	—	
経済学部 商学部		国語 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	
理学部		理科 9:20～11:50 （150 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:40 （120 分）	—	
工学部 農学部 獣医学部		理科 9:20～11:50 （150 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:40 （120 分）	—	中百舌鳥キャンパス
医学部	医学科（注１）	理科 9:20～11:50 （150 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:40 （120 分）	面接 （午前・午後）	阿倍野キャンパス
	リハビリテーション学科 （理学療法学専攻） （作業療法学専攻）	面接 （注２）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	面接 （注２）	—	羽曳野キャンパス
看護学部（注３）		国語 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	阿倍野キャンパス
生活科学部	食栄養学科	理科 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	杉本キャンパス
	居住環境学科	—	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	
	人間福祉学科（注３）	国語 10:20～11:50 （90 分）	外国語 13:10～14:50 （100 分）	数学 15:40～17:10 （90 分）	—	

・理科において選択科目がある学部・学域等については、試験当日試験室において選択してください。

（注１）医学部医学科の「面接」は２月 26 日（土）に実施します。時間帯（午前・午後）は受験票で通知します。

（注２）医学部リハビリテーション学科の「面接」は、「外国語」の前後いずれかの時間帯に受験していただきます。時間帯は受験票で通知します。

（注３）看護学部及び生活科学部人間福祉学科の「国語」及び「数学」は選択解答です。出願時にいずれか１教科を選択し、受験してください。

(2) 公立大学中期日程

学部	2022年３月８日（火）			試験会場
工学部	理科 9:20～11:20 （120分）	数学 13:00～15:00 （120分）	外国語 15:50～16:50 （60分）	・中百舌鳥キャンパス ・地方会場：名古屋試験場

(3) 後期日程

学部・学域等		2022年３月12日（土）		試験会場
現代システム科学域		面接	10:00～14:00	中百舌鳥キャンパス
文学部		小論文	10:00～12:30（150分）	杉本キャンパス
法学部		小論文	10:00～12:30（150分）	
理学部	数学科	数学	10:00～12:30（150分）	
	物理学科	数学・理科	10:00～12:30（150分）	
	化学科	外国語	10:00～12:00（120分）	
	生物学科	理科	10:00～11:30（90分）	
	地球学科	口述試験	10:00～14:00	
	生物化学科	口述試験	10:00～14:00	
農学部	応用生物科学科 生命機能化学科	小論文	10:00～11:00（60分）	中百舌鳥キャンパス
医学部	リハビリテーション学科 （理学療法学専攻） （作業療法学専攻）	面接	10:00～14:00	羽曳野キャンパス
看護学部		面接	10:00～14:00	阿倍野キャンパス

・経済学部、商学部、農学部緑地環境科学科の後期日程では、個別学力検査等を課しません。試験日に来学する必要はありません。（ただし、経済学部のユニーク選抜で面談有りと通知された受験者を除きます。）

※各日程・学部・学域等における試験会場の詳細は、31ページ「３　個別学力検査等会場」を参照してください。

３　個別学力検査等会場

各学部・学域等の個別学力検査等会場は以下のとおりを予定しています。

・日程により実施場所が異なる学部・学域等がありますので、ご注意ください。

・以下の実施場所は予定であり変更となる可能性があります。

・試験当日及び下見可能日時において、実施場所となる建物の前に試験室の見取り図等を掲示します。実施場所及び見取り図等掲示場所については、74～77 ページの試験場案内図を確認してください。また、下見については 56 ページを確認してください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">学部・学域等</th><th rowspan="2">試験会場</th><th colspan="3">実施場所（予定）</th></tr>
<tr><th>前期日程</th><th>後期日程</th><th>公立大学中期日程</th></tr>
<tr><td rowspan="4">現代システム科学域</td><td>知識情報システム学類
現代システム科学域（英・数型）</td><td rowspan="4">中百舌鳥
キャンパス</td><td>Ｂ１棟</td><td rowspan="4">Ｂ１棟
・
Ｂ２棟
（注１）</td><td rowspan="4">―</td></tr>
<tr><td>環境社会システム学類（英・国型）
心理学類（英・国型）
現代システム科学域（英・国型）</td><td rowspan="2">Ａ５棟</td></tr>
<tr><td>環境社会システム学類（理・数型）
心理学類（理・数型）
現代システム科学域（理・数型）</td></tr>
<tr><td>教育福祉学類
現代システム科学域（英・小論型）</td><td>Ｂ１棟</td></tr>
<tr><td colspan="2">文学部</td><td rowspan="5">杉本
キャンパス</td><td>１号館・法学部棟</td><td>全学共通教育棟</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">法学部</td><td rowspan="3">全学共通教育棟</td><td>法学部棟</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">経済学部</td><td>（注２）</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">商学部</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">理学部</td><td colspan="2">１号館</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">工学部</td><td rowspan="3">中百舌鳥
キャンパス</td><td>Ｂ４棟</td><td>―</td><td>全講義棟
（注３）</td></tr>
<tr><td colspan="2">農学部</td><td rowspan="2">Ｂ３棟</td><td>Ｂ３棟</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">獣医学部</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td rowspan="2">医学部</td><td>医学科</td><td>阿倍野
キャンパス</td><td>医学部学舎</td><td>―</td><td>―</td></tr>
<tr><td>リハビリテーション学科</td><td>羽曳野
キャンパス</td><td colspan="2">（注４）</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">看護学部</td><td>阿倍野
キャンパス</td><td colspan="2">医学部看護学科学舎</td><td>―</td></tr>
<tr><td colspan="2">生活科学部</td><td>杉本
キャンパス</td><td>全学共通教育棟</td><td>―</td><td>―</td></tr>
</table>

（注１）現代システム科学域後期日程は、学域単位で募集します。

（注２）経済学部後期日程ユニーク選抜の面談会場は、必要とされた者についてのみ、別途通知します。

（注３）工学部中期日程（中百舌鳥キャンパス）は受験番号により実施場所（建物）が異なります。実施場所は各門に掲示しますので確認してください。なお、地方会場として名古屋試験場でも実施します。

（注４）医学部リハビリテーション学科の会場は、羽曳野キャンパス正門付近に掲示します。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
現代システム科学域 205名 前期 170 後期 35 ※	知識情報システム学類 40名 前期 40	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 英（注8）
	環境社会システム学類 50名 前期 50 （英・国型）30 （理・数型）20	前期（英・国型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物基、化基、生基、地基から2又は物、化、生、地学から1（注3） 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7又は8科目〕	国 外	国語総合・現代文B 英（注8）
		前期（理・数型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物基、化基、生基、地基から2又は物、化、生、地学から1（注3） 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科6又は7科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から1（注7）
	教育福祉学類 30名 前期 30	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから1 現社、倫、政経、倫・政経から1 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから1 物基、化基、生基、地基から2又は物、化、生、地学から1（注3） 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科6又は7科目〕	外 その他	英（注8） 小論文 日本語の文章に基づいて出題し、理解力、思考力、表現力等を問う。
	心理学類 30名 前期 30 （英・国型）20 （理・数型）10	前期（英・国型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物基、化基、生基、地基から2又は物、化、生、地学から1（注3） 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科6又は7科目〕	国 外	国語総合・現代文B 英（注8）
		前期（理・数型）			数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から1（注7）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
※現代システム科学域の一般選抜では、出願時に志望理由書の提出を求めます。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
６倍	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250		200			450	私費外国人留学生特別選抜
	計	100	50	350	100	300			900	※
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等	200				200			400	社会人特別選抜
	計	300	100	100	50	300			850	私費外国人留学生特別選抜
										※
６倍	共通テスト	100	50	100	50	100			400	
	個別学力検査等			200	200				400	
	計	100	50	300	250	100			800	
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	総合型選抜
	個別学力検査等					200	200		400	学校推薦型選抜
	計	100	100	100	50	300	200		850	社会人特別選抜
										私費外国人留学生特別選抜
										※
６倍	共通テスト	100	50	100	50	100			400	学校推薦型選抜
	個別学力検査等	200				200			400	私費外国人留学生特別選抜
	計	300	50	100	50	300			800	※
６倍	共通テスト	100	50	100	50	100			400	
	個別学力検査等			200	200				400	
	計	100	50	300	250	100			800	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

※現代システム科学域として、国際バカロレア特別選抜、ユネスコスクール特別選抜、スーパーサイエンスハイスクール(SSH)特別選抜、帰国生徒特別選抜を実施。欠員補充は、学域単位で追加合格を実施。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
現代システム科学域 ※	現代システム科学域 55名 前期 20 （英・数型）5 （英・国型）5 （英・小論型）5 （理・数型）5 後期 35	前期 （英・数型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から１（注１） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物、化、生、地学から２ 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注６） 英（注８）
		前期 （英・国型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから１ 現社、倫、政経、倫・政経から１ 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	国 外	国語総合・現代文B 英（注８）
		前期 （英・小論型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理Bから１ 現社、倫、政経、倫・政経から１ 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	外 その他	英（注８） 小論文 日本語の文章に基づいて出題し、理解力、思考力、表現力等を問う。
		前期 （理・数型）	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から１（注１） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（注６） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から１（注７）
		後期	国 地歴・公民 理 数 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から２（注５） 物、化、生、地学 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔４又は５教科６科目〕	その他	面接
文学部 155名 前期 125 後期 30		前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経から２ （２科目のうち１科目は必ず世B、日B、地理Bから選択すること。２科目とも選択することも可） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	国 外	国語総合・現代文B・古典B 英（注８）
		後期			その他	小論文 与えられた文章に関して自己の見解を論述する形式のもの

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

※現代システム科学域の一般選抜では、出願時に志望理由書の提出を求めます。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法 ・欠員の補充方法
２段階 選　抜	試験の区分	国　語	地歴・ 公民	数　学	理　科	外国語	小論文	口述・ 面接	配 点 合 計	
６倍	共通テスト	100	50	100	100	100			450	国際バカロレア特別選抜
	個別学力検査等			250		200			450	ユネスコスクール特別選抜
	計	100	50	350	100	300			900	スーパーサイエンスハイスクール(SSH)特別選抜 帰国生徒特別選抜 追加合格 （いずれも学域単位で募集）
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	
	個別学力検査等	200				200			400	
	計	300	100	100	50	300			850	
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	
	個別学力検査等					200	200		400	
	計	100	100	100	50	300	200		850	
６倍	共通テスト	100	50	100	50	100			400	
	個別学力検査等			200	200				400	
	計	100	50	300	250	100			800	
17倍	共通テスト	200	※	200	※	200			800	
	個別学力検査等							100	100	
	計	200	※	200	※	200		100	900	
	※「地歴・公民」「理科」から２科目の合計で200点とします。 得点の採用方法は（注５）を参照してください。									
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	国際バカロレア特別選抜
	個別学力検査等	200				200			400	帰国生徒特別選抜
	計	300	100	100	50	300			850	私費外国人留学生特別選抜 追加合格
17倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	
	個別学力検査等						400		400	
	計	100	100	100	50	100	400		850	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等	学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
		教科	科目名等	教科等	科目名等
法学部 180名 前期 155 後期　25	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、 現社、倫、政経、倫・政経から２ （２科目のうち１科目は必ず世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ から選択すること。２科目とも選択することも可） 数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は 物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	国 外	国語総合・現代文Ｂ 英（注８）
	後期			その他	小論文 法学・政治学の勉学に必要な適性と能力をみる。
経済学部 235名 前期 185 後期　50 （高得点選抜）　35 （ユニーク選抜）15 後期日程の詳細は「別表２　経済学部後期日程選抜方法等」（52～53ページ）を確認してください。	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、 現社、倫、政経、倫・政経から２ （２科目のうち１科目は必ず世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ から選択すること。２科目とも選択することも可） 数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は 物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	国 数 外	国語総合・現代文Ｂ 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６） 英（注８）
	後期 （高得点）			課さない。	
	後期 （ユニーク）			課さない。 大学入学共通テスト、自己推薦書、特別活動要覧等により選抜	
商学部 216名 前期 198 後期　18	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、 現社、倫、政経、倫・政経から２ （２科目のうち１科目は必ず世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ から選択すること。２科目とも選択することも可） 数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は 物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕	国 数 外	国語総合・現代文Ｂ 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６） 英（注８）
	後期	国 数 外	国 数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔３教科４科目〕	課さない。	
理学部　数学科 262名　40名 前期 204　前期 30 後期　58　後期 10	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、 地理Ａ、地理Ｂ、 現社、倫、政経、倫・政経 から１（注１） 数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物、化、生、地学から２ 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ（注６） 物基・物、化基・化、 生基・生、地基・地学から２（注７） 英（注８）
	後期	数 外	数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔２教科３科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ（注６）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法 ・欠員の補充方法
２段階 選　抜	試験の区分	国　語	地歴・ 公民	数　学	理　科	外国語	小論文	口述・ 面接	配 点 合 計	
６倍	共通テスト	200	200	200	100	200			900	私費外国人留学生特別選抜
	個別学力検査等	300				300			600	
	計	500	200	200	100	500			1,500	追加合格
11倍	共通テスト	40	40	40	20	40			180	
	個別学力検査等						300		300	
	計	40	40	40	20	40	300		480	
６倍	共通テスト	100	100	100	50	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等	150		150		150			450	私費外国人留学生特別選抜
	計	250	100	250	50	250			900	追加合格
—	共通テスト	100	100	100	50	100			450	
	個別学力検査等									
	計	100	100	100	50	100			450	
—	共通テスト	100	100	100	50	100			450	
	個別学力検査等									
	計	100	100	100	50	100			450	
６倍	共通テスト	100	100	100	50	150			500	専門学科・総合学科卒業生特別選抜
	個別学力検査等	160		170		170			500	学校推薦型選抜
	計	260	100	270	50	320			1,000	私費外国人留学生特別選抜 追加合格
—	共通テスト	200		200		200			600	
	個別学力検査等									
	計	200		200		200			600	
６倍 （理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	帰国生徒特別選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	私費外国人留学生特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	追加合格
17倍	共通テスト			200		300			500	
	個別学力検査等			500					500	
	計			700		300			1,000	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
理学部	物理学科 69名 前期 52 後期 17	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化、生基・生、地基・地学から1（注7） 英（注8）
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物と化、生、地学から1 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔3教科5科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物（注7）
	化学科 73名 前期 60 後期 13	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		後期	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物と化 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔4教科6科目〕	外	英（注8） ただし、化学を含む内容を問う。
	生物学科 31名 前期 23 後期 8	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から2（注7） 英（注8）
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から1（注1） 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔3教科4科目〕	理	生基・生（注7）
	地球学科 20名 前期 16 後期 4	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から2（注7） 英（注8）
		後期			その他	口述試験 地球学の勉学に必要な科学的な基礎知識や思考力、学習意欲をみる。必ずしも高校での地学の履修や知識を必要としない。
	生物化学科 29名 前期 23 後期 6	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生、地基・地学から2（注7） 英（注8）
		後期	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔4教科6科目〕	その他	口述試験 「化基・化」及び「生基・生」の内容を含む。（注7）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
６倍（理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
17倍	共通テスト			100	100	200			400	
	個別学力検査等			100	300				400	
	計			200	400	200			800	
６倍（理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
17倍	共通テスト	100		200	300	100			700	
	個別学力検査等					300			300	
	計	100		200	300	400			1,000	
６倍（理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
17倍	共通テスト			200	200	200			600	
	個別学力検査等				400				400	
	計			200	600	200			1,000	
６倍（理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
17倍	共通テスト	50	50	150	200	150			600	
	個別学力検査等							300	300	
	計	50	50	150	200	150		300	900	
６倍（理学部全体で実施）	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	200	100			500	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	300	200			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
17倍	共通テスト	100		100	400	200			800	
	個別学力検査等							200	200	
	計	100		100	400	200		200	1,000	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
工学部 711名 前期 269 中期 442	航空宇宙工学科 38名 前期 8 中期 30	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第1類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
	海洋システム工学科 29名 前期 10 中期 19	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第1類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
	機械工学科 125名 前期 49 中期 76	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第1類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
	建築学科 27名 前期 21 中期 6	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第1類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
	都市学科 45名 前期 35 中期 10	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第1類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
	電子物理工学科 105名 前期 33 中期 72	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から1（注1） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第2類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と 化基・化（注7） 英（注8）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

※工学部中期日程は各学科が＜第1類＞＜第2類＞＜第3類＞のいずれかのグループに属します。

第2、第3志望は第1志望と同じグループの学科からのみ選択できます。

＜第1類＞：航空宇宙工学科、海洋システム工学科、機械工学科、建築学科、都市学科

＜第2類＞：電子物理工学科、情報工学科、電気電子システム工学科

＜第3類＞：応用化学科、化学工学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	私費外国人留学生特別選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	総合型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	総合型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	学校推薦型選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
6倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
工学部	情報工学科 77名 前期 24 中期 53	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第2類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
	電気電子システム工学科 65名 前期 21 中期 44	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第2類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
	応用化学科 67名 前期 15 中期 52	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第3類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
	化学工学科 38名 前期 8 中期 30	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第3類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
	マテリアル工学科 40名 前期 10 中期 30	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第3類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
	化学バイオ工学科 55名 前期 35 中期 20	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）
		中期 ＜第3類＞ ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物と化基・化（注7） 英（注8）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

※工学部中期日程は各学科が＜第1類＞＜第2類＞＜第3類＞のいずれかのグループに属します。

第2、第3志望は第1志望と同じグループの学科からのみ選択できます。

＜第1類＞：航空宇宙工学科、海洋システム工学科、機械工学科、建築学科、都市学科

＜第2類＞：電子物理工学科、情報工学科、電気電子システム工学科

＜第3類＞：応用化学科、化学工学科、マテリアル工学科、化学バイオ工学科

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	私費外国人留学生特別選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	私費外国人留学生特別選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	私費外国人留学生特別選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	
６倍（工学部全体で実施）	共通テスト	140	60	130	130	140			600	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			250	200	150			600	私費外国人留学生特別選抜
	計	140	60	380	330	290			1,200	追加合格
12倍（工学部全体で実施）	共通テスト	60	30	75	75	60			300	
	個別学力検査等			240	240	120			600	
	計	60	30	315	315	180			900	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
農学部 120名 前期 90 後期 30	応用生物科学科 40名 前期 30 後期 10	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生から2（注7） 英（注8）
		後期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英（注4） 〔5教科7科目〕	その他	小論文 日本語あるいは英語の文章による出題に基づき、自然科学についての基礎的な知識、理解力及び論理的な思考力、表現力等を問う。
	生命機能化学科 40名 前期 30 後期 10	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生から2（注7） 英（注8）
		後期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生から2 英（注4） 〔5教科7科目〕	その他	小論文 日本語あるいは英語の文章による出題に基づき、自然科学についての基礎的な知識、理解力及び論理的な思考力、表現力等を問う。
	緑地環境科学科 40名 前期 30 後期 10	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生から2（注7） 英（注8）
		後期	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英（注4） 〔4教科6科目〕	課さない。	
獣医学部 35名 前期 35		前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 から1（注1） 数Ⅰ・数Aと数Ⅱ・数B、簿、情報から1（注2） 物、化、生、地学から2 英、独、仏、中、韓から1（注4） 〔5教科7科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注6） 物基・物、化基・化、生基・生から2（注7） 英（注8）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法 ・欠員の補充方法
２段階 選　抜	試験の区分	国　語	地歴・ 公民	数　学	理　科	外国語	小論文	口述・ 面接	配 点 合 計	
６倍	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	300	100			600	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	400	200			1,050	私費外国人留学生特別選抜 追加合格
17倍	共通テスト	100	100	200	200	100			700	
	個別学力検査等						200		200	
	計	100	100	200	200	100	200		900	
６倍	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	300	100			600	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	400	200			1,050	私費外国人留学生特別選抜 追加合格
17倍	共通テスト	100	100	200	200	100			700	
	個別学力検査等						200		200	
	計	100	100	200	200	100	200		900	
６倍	共通テスト	100	50	100	100	100			450	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	300	100			600	帰国生徒特別選抜
	計	100	50	300	400	200			1,050	私費外国人留学生特別選抜 追加合格
―	共通テスト	100		200	200	200			700	
	個別学力検査等									
	計	100		200	200	200			700	
６倍	共通テスト	200	100	200	100	200			800	学校推薦型選抜
	個別学力検査等			200	300	200			700	産業動物獣医師地域枠特別選抜
	計	200	100	400	400	400			1,500	帰国生徒特別選抜 私費外国人留学生特別選抜 追加合格

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部 114名 前期 110 後期 4	医学科 80名 前期 80 (一般枠)75 (大阪府指定医療枠) 5	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐から１（注１） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物、化、生から２ 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７科目〕	数 理 外 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B（注６） 物基・物、化基・化、生基・生から２（注７） 英（注８） 面接 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般的態度・発言内容・コミュニケーション能力等の評価を通じて、医師・医学研究者としての適性を判断します。したがって、学力検査の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。
	リハビリテーション学科 ＜理学療法学専攻＞ 17名 前期 15 後期 2	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐から１（注１） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基から２又は 物、化、生から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	外 その他	英（注８） 面接
		後期	国 数 理 外	国 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基から２又は 物、化、生から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔４教科５又は６科目〕	その他	面接
	リハビリテーション学科 ＜作業療法学専攻＞ 17名 前期 15 後期 2	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世B、日B、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐から１（注１） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基から２又は 物、化、生から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	外 その他	英（注８） 面接
		後期	国 数 外	国 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔３教科４科目〕	その他	面接
看護学部 105名 前期 85 後期 20		前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐から１（注１） 数Ⅰ、数Ⅰ・数Aから１と 数Ⅱ、数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基から２又は 物、化、生から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	国 数 外	国語総合・現代文B 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B（注６）┐１教科選択（注10） 英（注８）
		後期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世A、世B、日A、日B、地理A、地理B、現社、倫、政経、倫・政経 ┐から１（注１） 数Ⅰ・数Aと 数Ⅱ・数B、簿、情報から１（注２） 物、化、生から１（注１） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６科目〕	その他	面接

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
大学入学共通テストの得点が650点以上（注９）	共通テスト	100	50	200	200	100			650	総合型選抜
	個別学力検査等			300	300	200		◎	800	学校推薦型選抜
	計	100	50	500	500	300			1,450	追加合格
	◎面接では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般的態度・発言内容・コミュニケーション能力等の評価を通じて、医師・医学研究者としての適性を判断します。したがって、学力検査の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。									
６倍	共通テスト	200	100	200	100	200			800	学校推薦型選抜
	個別学力検査等					100		300	400	
	計	200	100	200	100	300		300	1,200	追加合格
17倍	共通テスト	200		200	200	100			700	
	個別学力検査等							300	300	
	計	200		200	200	100		300	1,000	
６倍	共通テスト	200	100	200	100	200			800	学校推薦型選抜
	個別学力検査等					100		300	400	
	計	200	100	200	100	300		300	1,200	追加合格
17倍	共通テスト	200		200		200			600	
	個別学力検査等							300	300	
	計	200		200		200		300	900	
６倍	共通テスト	200	100	200	200	200			900	学校推薦型選抜
	個別学力検査等	＊200		＊200		200			400	私費外国人留学生特別選抜
	計（国語選択）	400	100	200	200	400			1,300	
	（数学選択）	200	100	400	200	400			1,300	追加合格
17倍	共通テスト	200	100	200	200	200			900	
	個別学力検査等							50	50	
	計	200	100	200	200	200		50	950	

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
・＊印を付した配点は、選択教科を表します。

大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

学部・学域等名及び募集人員等		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
生活科学部 109名 前期 109	食栄養学科 45名 前期 45 （均等型） 20 （理数重点型） 25	前期 （均等型） ※	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から１（注１） 数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物、化、生から２ 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７科目〕	数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６） 物基・物、化基・化、生基・生から１（注７） 英（注８）
		前期 （理数重点型） ※			数 理 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６） 物基・物、化基・化、生基・生から１（注７） 英（注８）
	居住環境学科 34名 前期 34	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、地理Ａ、地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から１（注１） 数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	数 外	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６） 英（注８）
	人間福祉学科 30名 前期 30	前期	国 地歴・公民 数 理 外	国 世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経 ┐ から１（注１） 数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科６又は７科目〕	国 数 外	国語総合・現代文Ｂ 数Ⅰ・数Ⅱ・数Ａ・数Ｂ（注６）┘ １教科選択（注10） 英（注８）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

※食栄養学科は、入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。

（入試の型が「均等型」の場合、２年次・３年次は羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合、２年次・３年次は杉本キャンパス）

別表１

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等									その他の選抜方法・欠員の補充方法
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計	
６倍	共通テスト	100	100	100	100	100			500	国際バカロレア特別選抜
	個別学力検査等			150	150	150			450	学校推薦型選抜
	計	100	100	250	250	250			950	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
６倍	共通テスト	100	100	100	100	100			500	
	個別学力検査等			175	175	100			450	
	計	100	100	275	275	200			950	
６倍	共通テスト	100	100	100	100	100			500	国際バカロレア特別選抜
	個別学力検査等			150		150			300	学校推薦型選抜
	計	100	100	250	100	250			800	私費外国人留学生特別選抜
										追加合格
６倍	共通テスト	100	100	100	100	100			500	国際バカロレア特別選抜
	個別学力検査等	＊150		＊150		150			300	学校推薦型選抜
	計（国語選択）	250	100	100	100	250			800	私費外国人留学生特別選抜
	（数学選択）	100	100	250	100	250			800	
										追加合格

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。
・＊印を付した配点は、選択教科を表します。

教科・科目名の表記及び注意事項等について

1　大学入学共通テストの利用教科・科目名は次のように略しています。

国語 → 国

「国語」→「国」

地理歴史・公民 → 地歴・公民

「世界史Ａ」→「世Ａ」、「世界史Ｂ」→「世Ｂ」、「日本史Ａ」→「日Ａ」、
「日本史Ｂ」→「日Ｂ」、「地理Ａ」→「地理Ａ」、「地理Ｂ」→「地理Ｂ」、
「現代社会」→「現社」、「倫理」→「倫」、「政治・経済」→「政経」、
「倫理、政治・経済」→「倫・政経」

数学 → 数

「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」、「数学Ⅰ・数学Ａ」→「数Ⅰ・数Ａ」、
「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」、「数学Ⅱ・数学Ｂ」→「数Ⅱ・数Ｂ」、
「簿記・会計」→「簿」、「情報関係基礎」→「情報」

理科 → 理

「物理基礎」→「物基」、「化学基礎」→「化基」、「生物基礎」→「生基」、「地学基礎」→「地基」、
「物理」→「物」、「化学」→「化」、「生物」→「生」、「地学」→「地学」

外国語 → 外

「英語」→「英」、「ドイツ語」→「独」、「フランス語」→「仏」、
「中国語」→「中」、「韓国語」→「韓」

※なお、教科については「地理歴史」、「公民」を合わせて１教科として取り扱います。

2　大学入学共通テストの利用方法については、次の例のように利用科目名、利用方法を示しています。

【例】

国語のみを指定　→　国

世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂから１科目を選択　→　世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂから１

地歴・公民から１科目を選択　→　世Ａ、世Ｂ、日Ａ、日Ｂ、
地理Ａ、地理Ｂ、
現社、倫、政経、倫・政経
から１

数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂの２科目を選択　→　数Ⅰ・数Ａと
数Ⅱ・数Ｂ

理科から２科目を選択　→　物、化、生、地学から２

英語のみを指定　→　英

3　個別学力検査の出題教科・科目名は、上記１と同様に略すほか、次のように略しています。

「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」、「数学Ａ」→「数Ａ」、「数学Ｂ」→「数Ｂ」、「韓国・朝鮮語」→「韓・朝」

4　教科・科目欄の注意事項について

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注１）　「地理歴史・公民」、「理科（基礎を付さない科目）」において、受験科目を１科目と指定しているところを２科目受験した場合は、第１解答科目の得点を採用します。

（注２）　「数学」の「簿記・会計」、「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校又は中等教育学校の普通科･理数科系を除く学科においてこれらの科目を履修した者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。

なお、「情報関係基礎」を履修した者には、普通教科「情報」として開講された科目(「社会と情報」･「情報の科学」等)を履修した者は該当しません。

※総合学科の受験者については、当該学校の学科の原則履修科目、総合選択科目、自由選択科目において、「数学Ⅱ」及び「数学Ｂ」を設けていない場合に限り選択できます。

（注３）　「理科」において、受験科目を「基礎を付した科目」２科目又は「基礎を付していない科目」１科目と指定しているところをそのいずれも受験した場合は、「基礎を付した科目」２科目の合計点及び「基礎を付していない科目」１科目の得点のうち、高得点を採用します。なお、この場合、同一名称科目を付した科目の選択を認めます。また、「基礎を付していない科目」２科目を受験した場合は、第１解答科目の得点を採用します。

（注４）　「外国語」の「英語」については、「リーディング」100 点、「リスニング」100 点の合計 200 点を「リーディング」150 点、「リスニング」50 点の合計 200 点に換算し、外国語（英語）の得点として、各学部・学域等の配点に換算します。また、「リスニング」を免除された者については、「リーディング」100 点を 200 点に換算し、各学部・学域等の配点に換算します。

英語以外の外国語を選択した場合は、「筆記」200 点を各学部・学域等の配点に換算します。

（注５）　現代システム科学域（一般選抜後期日程）において、「地歴・公民」、「理科（基礎を付さない科目）」の複数（指定数以上）の科目を受験した場合は、以下の２科目を採用します。

(1)「地歴・公民」及び「理科」の第１解答科目のうち、高得点のもの（同点の場合は、第２解答科目が高得点の教科の第１解答科目を採用）

(2)「(1)で採用した教科の第２解答科目」及び「(1)で採用しない教科の第１解答科目」の得点のうち、高得点のもの

【個別学力検査等】欄

（注６）　数学

数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学Ａは全範囲からの出題とします。

数学Ｂは「数列」・「ベクトル」を出題範囲とします。

（注７）　理科

「物理基礎・物理」は物理基礎及び物理の全範囲からの出題とします。

「化学基礎・化学」は化学基礎及び化学の全範囲からの出題とします。

「生物基礎・生物」は生物基礎及び生物の全範囲からの出題とします。

「地学基礎・地学」は地学基礎及び地学の全範囲からの出題とします。

（注８）　外国語

英語は「コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ・英語表現Ⅱ」を出題範囲とします。なお、個別学力検査においてリスニングは課しません。

（注９）　医学部医学科が指定する大学入学共通テストの教科・科目の成績の総点（※）が 900 点満点中 650 点以上の者を第１段階選抜合格者とし、個別学力検査等を課します。

（※）素点を用います。ただし、外国語の「英語」は 200 点満点（リーディング 100 点満点、リスニング 100 点満点）のため、リスニングを免除された者については、リーディング 100 点を 200 点に換算します。

（注 10）　「国語」及び「数学」の選択解答は、出願時に教科を選択する必要があります。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

・＊印を付した配点は、選択教科を表します。

別表２

経済学部後期日程選抜方法等

目的	経済学部後期日程は、入学者選抜方法の多様化により個性豊かな学生を増やし、大学教育の活性化を目指すものです。具体的には、大学入学共通テストで特に優秀な成績を修めた者、及び高等学校において必要な基礎学力を身につけるとともに、課外活動等においても高い成果を修めた者、又は団体活動において指導的な役割等を果たした者を求めます。
募集人員	50 名〔高得点選抜：35 名、ユニーク選抜：15 名〕
出願資格	「〔３〕出願資格」（20 ページ）に同じです。
入学者選抜方法	・個別学力検査等は課しません。 ・大学入学共通テストの教科・科目、配点は、別表１（36～37 ページ）及び「教科・科目名の表記及び注意事項等について」（50～51 ページ）を参照してください。 ・２段階選抜は行いません。 **・出願時に高得点選抜又はユニーク選抜のいずれかを選択してください。** **【高得点選抜】** 高得点選抜は大学入学共通テストで優秀な成績を修めた者から 35 名を選抜します。 **【ユニーク選抜】** ユニーク選抜は高校生活等で優れた活動や成果を修め、かつ大学入学共通テストにおいて一定以上の学力が認められた者について、調査書・自己推薦書・特別活動要覧等の書類を総合的に判断し、15 名を選抜します。
出願書類等	出願書類等は「〔４〕４　出願書類等」（22～24 ページ）に記載のとおりです。 ユニーク選抜に出願する場合は下記(1)～(4)を提出してください。 （注） ・本学 Web サイトの「出願関係書類一覧」のページから、所定の様式をダウンロードしてください。（https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html） ・パソコンもしくは手書きで作成してください（パソコンでの作成を推奨）。手書きの場合は、黒ボールペン（消えるインクは不可）を使用してください。 ・出願書類に記入漏れ等不備がある場合は、受理しません。出願書類の受理後は、出願事項の変更を認めません。出願書類等に出願時に虚偽の記載をした場合、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。 ・提出書類の印刷は、Ａ４サイズの片面印刷に統一してください。白黒・カラーは問いません。また、提出された書類は、一切返却いたしません。 (1) 調査書 「指導上参考となる諸事項」欄には特技・取得資格等を記入し、「備考」欄には学校生活以外の場における諸活動等を記入してください。記入しきれない場合は、関係者推薦書に記入してください。その際は調査書にその旨記載をお願いします。 なお、取得資格に関しては、資格の正式名称と主催団体を記入してください。 (2) 自己推薦書 高等学校等において、特筆するべき学業、特別活動（学級活動・生徒会活動・部活動・学校行事・学外団体等での活動）、特技等にどのように熱心に取り組んだかを、その経歴、成果（受賞、取得資格、作品発表、役職、肩書き）などについて、特に強調したいところを中心にできる限り具体的に 1200 字以内で記入してください。 中止・延期等となった大会や資格・検定試験等に参加できず、結果を記入できない場合には、志願者の成果獲得に向けた努力のプロセスを記入してください。 (3) 特別活動要覧 高等学校等において、特筆するべき学業、特別活動（学級活動・生徒会活動・部活動・学校行事・学外団体等での活動）、特技等について、その経歴、成果（受賞、取得資格、作品発表、役職、肩書き）をまとめて、記入例を参考に本人が記入してください。 また、活動の成果がわかる書類を添付してください。

	(4) 関係者推薦書（任意提出） 本人には十分に把握しきれない点、もしくは説明が困難な活動等を紹介していただくものです。志願者の学業、特別活動、取得資格及び特技等について、客観的に評価・判断できる関係者が、できる限り具体的に 1200 字以内で記入してください。 志願者の活動等を客観的に評価・判断できる者であれば、誰が書いても結構です。 ※新型コロナウイルス感染症対策の影響により、出席日数や特別活動の記録、指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、志願者が不利益を被ることはありません。
面談 （面談有りと通知された志願者のみ）	・ユニーク選抜にかかる特別活動要覧等に不明な点がある場合、確認のために志願者と面談することがあります。 **・面談の有無は、受験票送付時に志願者全員に通知します。** ・該当者は、2022 年３月 12 日（土）に面談を行います。 ・なお、面談有りの通知を受けた者が面談を欠席した場合には、不合格になることがあります。
参考	＜ユニーク選抜における過去の合格者の主な活動、成果＞ 水泳、日本拳法、ダンス、武道（全国大会、優勝） 将棋（全国大会、準優勝） バレーボール（全国大会、３位） ピアノコンクール（国際大会、出場） ゲーム開発（全国大会、３位） 陸上競技、野球、サッカー、テニス、スキー、剣道、なぎなた等（全国大会、出場） 書道（全国大会、文部科学大臣賞） 漫画（一流雑誌掲載） 料理（全国大会、グランプリ） 囲碁（全国大会、４位） ※上記に加えて総合的に評価される成果 生徒会活動（生徒会長）、主将、部長、国際交流、ボランティア活動など 上記は大阪市立大学経済学部で過去に実施した入試における実績であり、当該年度の受験者の状況により、大学入学共通テストの結果と調査書、自己推薦書、特別活動要覧等の書類を総合的に判断して選抜します。
問合せ先	杉本キャンパス学生サポートセンター経済学部教務担当 TEL 06-6605-2251（月～金曜日（祝日及び休業日を除く。）9:00～17:00）

別表３

医学部医学科前期日程選抜方法等

（後期日程の募集は行いません。）

以下の項目以外は、「一般選抜」に準じていますので、必ず確認をしてください。

募集人員	80 名〔一般枠：75 名、大阪府指定医療枠：５名〕 （総合型選抜の合格者数が募集人員に満たない場合、一般枠の募集人員に加えます。） **【一般枠】** **・一般枠として 75 名を募集**します。 ・卒業後の進路等、特別な義務・拘束はありません。 **【大阪府指定医療枠】** **・大阪府指定医療枠として５名を募集**します。 ・入学後の医学科教育カリキュラムは一般枠と同様ですが、それに加え、大阪府が主催する実習プログラム等への参加が義務付けられます。 ・大阪府から地域医療の確保のための修学資金が貸与されます（月額 10 万円）。 ・卒業後のキャリア形成プログラム（必修）の対象となります。 ・卒後９年間（初期臨床研修期間を含む）、大阪府内の医療機関（大阪府が指定する病院又は診療所）に勤務し、うち４年間以上（初期臨床研修期間を含めない）は、大阪府が定める「医師の確保を特に図るべき区域*」に所在する医療機関に勤務することとなります。 *大阪府医師確保計画において医師確保が必要とされた府内の２次医療圏等とします。 ・初期臨床研修修了後５年間以上、指定診療業務（臨床研修の修了までに大阪府が指定する診療業務）に従事することになります。指定診療業務は、次の①～③のいずれかの診療業務とします（ただし、今後の医療環境の変化に伴い、指定診療業務の追加及び各項に該当する医療機関の変更を行う場合があります）。 ①総合周産期母子医療センターに指定された医療機関又は地域周産期母子医療センターに認定された医療機関の産婦人(産)科・小児(新生児)科 ②小児科を協力科とする救急告示病院の小児科 ③救命救急センター なお、大阪府地域医療確保修学資金等貸与要綱に基づき、本学を卒業した後、１年６月以内に医師免許を取得し、上記のとおり９年間（修学資金の貸与を受けた期間の 1.5 倍の期間）診療に従事した場合、借り受けた修学資金及び利息の返還が免除されます。 ＜修学資金等貸与制度に関する問合せ先＞ 大阪府健康医療部保健医療室医療対策課医療人材確保グループ 〒540-8570 大阪市中央区大手前２丁目　電話 06-6944-6692 http://www.pref.osaka.lg.jp/iryo/isikakuho/tiikiwaku.html
出願資格	・「〔３〕出願資格」（20 ページ）に同じです。 ・「大阪府指定医療枠」を志望する者は、卒業後の所定のプログラムにもとづく地域医療に従事することを確約できる者で「大阪府地域医療確保修学資金」の貸与を受ける意志のあるものとします。
出願書類	・出願書類等は「〔４〕４　出願書類等」（22～24 ページ）に記載のとおりです。 ・「大阪府指定医療枠」を志望する者は、一般選抜の出願書類に加え、本人及び保護者の同意も含めた誓約書及び出身高等学校長等からの推薦書を提出する必要があります。これらの誓約書・推薦書の提出の無い場合は、「大阪府指定医療枠」での出願を受け付けません。 ・本学 Web サイトの「出願関係書類一覧」のページから、所定の様式をダウンロードしてください。（https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/doc.html）
選抜方法等	・第２志望まで志望することができます。 ・合否判定は、総合順位の高い順に、第１志望から優先して合格とします。第２志望まで志望した受験者は、第１志望で合格とならなかった場合、第２志望での合格の可能性があります。 ◎面接では、アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）に基づき、一般的態度・発言内容・コミュニケーション能力等の評価を通じて、医師・医学研究者としての適性を判断します。したがって、学力検査の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。 ・「大阪府指定医療枠」については、応募・選考状況により、合格者発表数が募集人員に満たない場合があります。
問合せ先	医学部学務課 TEL 06-6645-3611（月～金曜日（祝日及び休業日を除く。）9:00～17:00）

〔７〕受験上の注意

下記注意事項をよく確認の上受験してください。なお、各学部・学域等における受験上の注意は、インターネット出願登録時に本学 Web サイトに掲載する予定です。受験にあたっては、本学 Web サイトに掲載する受験上の注意を必ず印刷して内容を確認し、受験票とともに試験当日に持参してください。また、本学 Web サイトに掲載している一般選抜の Q&A も併せて確認してください。

一般選抜の Q&A ▸▸▸
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/general/index.html

(1) **学力検査当日は、「本学受験票」、「大学入学共通テスト受験票」、「各学部・学域等における受験上の注意」、筆記用具及び時計を必ず持参してください。**

(2) 所持品の取扱い

ア　本学受験票、大学入学共通テスト受験票のほかに机の上に置けるものは、次のとおりです。
- 黒鉛筆（Ｈ、Ｆ、HB に限る。和歌・格言等が印刷されているものは不可。）、鉛筆キャップ
- シャープペンシル（黒い芯に限る。）
- プラスチック製の消しゴム
- 鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類は不可。）
- 時計（辞書、電卓、端末等の機能があるものや、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものは不可。）
- 眼鏡、ハンカチ、目薬、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの。）
- 直定規（コンパス・分度器・三角定規は不可。）

イ　携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は、試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、携帯電話等をかばんにしまわず、身に付けていたり手に持っていると不正行為として取り扱うことがあります。

ウ　英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。なお、試験室の換気を行うことがありますので、上着など温かい服装を持参してください。

(3) いかなる理由があっても、再試験は行いません。

(4) 天候・交通機関の状況により、試験開始時刻を遅らせることがあります。それに伴い、試験終了時刻も変更となりますので、帰路の交通機関の予約等は、余裕をもって行ってください。

(5) 遅刻者の取扱い

試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始時刻後 30 分以内の遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。面接・口述試験については、試験開始後の遅刻は認めません。なお、遅刻の原因が、試験当日の特別の事情（別記の事由）によるときは、試験開始後 60 分（面接・口述試験は 30 分）までは受験を認め、試験時間の延長を認める場合がありますので、**試験開始時刻までに**「各学部・学域等における受験上の注意」に記載の連絡先まで申し出てください。

【別記】ア　交通機関（時刻表を定め運行しているものに限る。）が、事故等で「乗車できない状況」又は「降車できない状況」になり、30 分以上の延着になったとき。

イ　試験場に向かう途上での予期せぬ事故（自然災害含む）及び負傷、発病。

天候・交通機関（遅延・運休）の状況により多数の遅刻者が予想される場合は、試験時間を繰り下げて実施することがあります。その場合の遅刻限度は新たな試験開始時刻から起算し、原則として以後の受験は認めません。なお、上記の場合は、本学 Web サイト（https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/news）で確認することができます。

※遅刻の原因が Web サイトに掲載した事由の場合は、入試課への申し出は不要です。

(6) 自動車、バイク等の試験場への乗り入れを禁止します。自転車は、杉本キャンパス及び中百舌鳥キャンパスのみ乗り入れ可能です。所定の場所に駐輪してください。なお、来学の際は、原則公共交通機関等を利用することとし、自家用車による送迎は控えてください。

(7) 本学のキャンパス内は、全面的に禁煙です。

(8) 受験者への宿泊施設の紹介は行いません。

(9) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、各自マスク（不織布製）を持参し、試験場内では、昼食時を除き常にマスクを着用してください（鼻と口の両方を確実に覆うこと）。何らかの事情によりマスクの着用が困難な場合は試験日の１週間前までに申し出てください。

また、本学での新型コロナウイルス感染症拡大防止のための対応について、試験場や「各学部・学域等における受験上の注意」等にてお知らせしますので、それらの指示に従って行動してください。

※この他、個別学力検査等の特別日程試験に関しては、63～65 ページを参照してください。

（注）・試験場の下見について

各日程とも試験前日の 13:00～17:00 に試験場の下見が可能です（工学部中期日程名古屋試験場の下見はできません）。ただし、試験場となる建物及び試験室には入れません。

・詐欺まがいの行為について

試験場周辺において本学関係者を装い、受験者に「合否連絡をする」、「緊急時に自宅に連絡する」などと言葉巧みに近寄り、個人情報を記入させ、現金を要求する行為が発生しています。本学関係者が受験者に現金を要求することは一切ありませんので注意してください。

〔８〕合格者発表

1　合格者発表について

合格者の受験番号を、下記のとおり本学 Web サイトに掲載します。

合格者発表 ▸▸▸
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/pass.html

日程	発表日時	Web サイト掲載期間
前期日程	2022 年３月　９日（水）11:00	2022 年３月　９日（水）11:00～３月 15 日（火）17:00
後期日程	2022 年３月 22 日（火）15:00	2022 年３月 22 日（火）15:00～３月 27 日（日）17:00
公立大学中期日程	2022 年３月 23 日（水）11:00	2022 年３月 23 日（水）11:00～３月 27 日（日）17:00

※特別日程試験については 65 ページを参照してください。

（注）・学内での掲示は行いません。

・電話等による合否の問合せには一切応じません。

・第２志望又は第３志望まで学科を選択した場合は、第２志望以降の学科の合格者受験番号も必ず確認してください。

・医学部医学科前期日程は、「一般枠」及び「大阪府指定医療枠」（別表３（54 ページ）参照）の枠ごとの発表ではなく、一括して発表します。いずれの志望枠で合格となったかについては、合格者に郵送する合格通知等により確認してください。

・合格者発表直後は、回線が大変混み合い接続に時間がかかることが予想されますので、あらかじめご了承ください。

2　合格通知書及び入学手続書類

(1) 合格者には合格通知書及び入学手続書類を速達・簡易書留郵便で送付します（合格者発表当日の午前中に発送）。

(2) 合格者発表にて合格を確認したが、合格通知書及び入学手続書類が入学手続指定日前日までに到着しなかった場合は、入試課（TEL 06-6605-2141）まで連絡してください。

(3) 郵便の不着又は遅配を理由とした、入学手続指定日の受付時間以降の入学手続は一切認めません。

〔９〕入学手続

1　入学手続について

入学手続書類の説明に従って、下表の日程で手続してください。

【提出書類等】大学入学共通テスト受験票（提示）、入学請書、入学料（振込金兼手数料受取書の提示）、卒業証明書（2022年３月卒業見込み者のみ）、その他

日程※１	学部・学域・学科	手続会場（キャンパス）	入学手続指定日	受付時間
前期日程	文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、生活科学部	杉本	３月14日（月）※２	9:30～12:00 13:00～15:00
	現代システム科学域、工学部、農学部、獣医学部、看護学部	中百舌鳥	３月14日（月） ３月15日（火）	
	医学部医学科	阿倍野	３月14日（月）※２	
	医学部リハビリテーション学科	羽曳野	３月14日（月） ３月15日（火）	
後期日程	文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部	杉本	３月26日（土）※２	9:30～12:00
	現代システム科学域、農学部、看護学部	中百舌鳥	３月26日（土） ３月27日（日）	9:30～12:00 13:00～15:00
	医学部リハビリテーション学科	羽曳野	３月27日（日）	
公立大学中期日程	工学部	中百舌鳥	３月26日（土） ３月27日（日）	9:30～12:00 13:00～15:00

※１　特別日程試験については65ページを参照してください。

※２　杉本及び阿倍野キャンパスで入学手続指定日に手続できない者は、各日程の手続指定日翌日の指定時間に限り受付を行います。連絡方法等の詳細は、入学手続書類にてご確認ください。

（注）・入学手続時までに、入学料の納付が必要となります。

・提出書類等は、入学手続指定日の受付時間に必ず持参してください。郵送による受付は行いません。入学手続は代理人でも差し支えありません。

・入学手続指定日の受付時間内に入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

・大学入学共通テスト受験票は、紛失、破損等のないよう特に注意してください。もし、紛失したときは、速やかに再発行の手続を行ってください。大学入学共通テスト受験票を持参しなかったときは、入学手続ができない場合があります。

・本学に入学手続をした者は、それ以後、これを辞退して他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をすることはできません。また、他の国公立大学・本学の他学部・学域等に入学手続をしたものは、それを辞退して本学に入学手続をすることはできません。

※ただし、次の場合はこの限りではありません。

①後期日程の合格者で入学手続を完了した者が、前期日程・公立大学中期日程の追試験（特別日程試験）を受験し、合格者となった場合

②公立大学中期日程の合格者で入学手続を完了した者が、前期日程・後期日程の追試験（特別日程試験）を受験し、合格者となった場合

※本学の後期日程又は公立大学中期日程の入学手続完了後、国公立大学の別日程の追試験（特別日程試験）に合格しその合格大学・学部で入学手続を行う者は、入学辞退手続を行う必要があります。速やかに入試課（TEL 06-6605-2141）まで申し出てください。

２　所属学科の変更

工学部中期日程において第２志望又は第３志望学科に合格した者は、入学手続完了後、第１志望又は第２志望学科に欠員が生じた場合、当該学科に所属を変更することがありますので留意してください。該当者には、３月 29 日（火）以降に電話・郵便等によって通知します。学科変更後の合格通知書は交付済合格通知書と引き換えに交付します。

３　入学許可の取消し

(1) 出願時に虚偽の登録をした場合、又は入学試験において不正行為を行ったことが判明した場合は、入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

(2) 入学手続完了後でも、高等学校等の課程を卒業（修了）できない場合、又は高等学校卒業程度認定試験に合格できない場合は、入学を取り消します。

〔10〕追加合格

入学手続完了者数が入学定員を下回った場合には、追加合格を行うことがあります。追加合格の方法は学部・学域等により異なります。

現代システム科学域、理学部、工学部、農学部、獣医学部、医学部リハビリテーション学科

追加合格を実施する場合、３月 28 日（月）に追加合格者を決定し、該当者には電話・書留速達郵便等により合格通知を行い、併せて合格通知書の交付、入学手続方法・期日等について連絡します。連絡を受けた者は、指定された日時までに入学手続を完了してください。

文学部、法学部、経済学部、商学部、医学部医学科、看護学部、生活科学部

追加合格を実施する場合、３月 28 日（月）午前 8:00 から、追加合格候補者の上位から順に出願時に登録された連絡先へ電話で直接連絡し、本人の意志確認を行います。なお、該当者への最初の連絡から２時間以内に連絡がつかない場合は、候補者から除外され、次位の候補者へ連絡を行います。

(注)・本学から追加合格者として通知を受けた者であっても、既に他の国公立大学で入学手続を完了した者は、本学への入学手続を行うことはできません。また、各日程の合格者で入学手続を行わなかった者は、当該日程の追加合格の対象にはなりません。

・追加合格者として通知を受け、本学に入学を希望する者は、入学手続時までに入学料の納付が必要となります。

・指定された日時までに入学手続を完了しなかった者は、入学を辞退したものとして取り扱います。

・追加合格の結果に関する情報は連絡及び処理が終了次第、本学 Web サイトでお知らせします。

〔11〕学費（入学料・授業料等）

学費（入学料・授業料等）については、合格者に送付する入学手続書類に詳細を記載しますので、必ず確認してください。各問合せ先については、79 ページを参照してください。

（注）既納の納付金は還付しません。

1　入学料　　「大阪府民及びその子」282,000 円　「その他の者」382,000 円

「大阪府民及びその子」は、次の対象者が所定の手続を行い認定された場合に適用されます。

対象者：入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の１年以上前（2022 年４月入学者の場合、2021 年４月１日以前）から引き続き大阪府内に住民票を有する者。日本国籍を有しない者も同一の要件です。

なお、手続において提出を求める「住民票（全員）」及び「戸籍抄本等の同一戸籍を証明する書類（必要者のみ）」については、入学手続日の１か月以内に交付を受けたものとなります。詳細は入学手続書類送付時に案内します。

入学料は、入学手続時までに所定の振込用紙にて納入してください。

（注）**・入学料の納付のみでは入学手続は完了しません。納付後に入学手続を行ってください。**

・入学手続完了後は、入学料を還付しません。（修学支援制度等により入学料の減免が認められた場合は、減免額を返金します。）

2　授業料（年額）535,800 円（入学後に納付）

（注）・在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の金額が適用されます。

・授業料は、年額の半分ずつを前期分・後期分に分けて、ご登録いただく口座からの引落（※）により納付していただきます。

（※）手数料は、大学負担です。

3　その他

(1) 各種団体加入費

各種団体等に加入していただくために別途費用が必要です。

(2) キャンパス間の移動に要する経費

キャンパス間の移動に要する経費（交通費等）が必要になる場合があります。

(3) 獣医学部における負担金

実験機器充実負担金及び実習充実負担金（年額）185,000 円（入学後に納付）

（注）２年次以降もこれらの費用が必要です。

(4) 学修用個人ノートパソコン（必携化について）

高度情報化社会に対応できる ICT（情報コミュニケーション）技術を有する人材を育成するために、授業や履修登録等を始め、自宅やその他の場所など多くの機会にノートパソコンとインターネットを利用することが必要となります。そのため、入学後に学修用個人ノートパソコンを必ず準備していただくことになりますので予めお知らせします。詳細は、本学 Web サイトや、合格者に送付する入学手続書類で確認してください。

(5) 医学部・看護学部では、医療施設における実習に備え、医学的対応（各種感染症の抗体検査、予防接種等）が必要です。また、抗体検査、予防接種等にかかる費用は自己負担となります。なお、医学部では、授業及び自己学習に使用する e-learning 教材の利用料も自己負担となります。

(6) その他、学部・学域・学科等によって諸費用等が必要となります。詳細は、入学手続書類送付時にご案内します。

〔12〕経済支援制度について

【＜国の支援＞高等教育の修学支援新制度】

大学等における修学の支援に関する法律に基づき、2020 年４月から学部・学域生を対象に修学支援新制度が開始されています。家計収入や成績の要件を満たす学生は、授業料の減免および給付型奨学金（返還の必要のない奨学金）の支給を合わせて受けることができます。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

＜文部科学省公式サイト 高等教育の修学支援新制度＞
https://www.mext.go.jp/kyufu/index.htm

【＜大阪府の支援＞大阪公立大学等授業料等支援制度】

大阪府では、親の経済事情や家庭の個別事情によって、大阪の子どもたちが進学を諦めることなくチャレンジできるよう、大阪で子育てをしている世帯への支援として、国の制度に府の独自制度を加え、授業料等の無償化（減免）を実施します。詳しくは、下記 Web サイトをご確認ください。

＜大阪府公式サイト 大阪府立大学・大阪市立大学の授業料等支援制度＞
https://www.pref.osaka.lg.jp/fukatsu/musyo/index.html

※なお、各制度の申請等の詳細については、確定次第、改めて大阪公立大学の Web サイトにてご案内します。

〔13〕個人別成績の情報提供について

2022 年度一般選抜の個人別成績について、以下のとおり提供します。

1　提供内容
　大学入学共通テスト・個別学力検査等の科目別得点（配点公表分のみ）

2　提供期間
　2022 年５月９日（月）10:00 から 2022 年６月９日（木）15:00 まで

3　提供対象者
　受験者本人に限ります。

4　請求方法
　下記 URL にアクセスし、画面の指示に従って必要事項を入力してください。

成績開示 ▶▶▶
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/exam_info/score.html

(1) 個人別成績の情報提供を希望する場合、出願時に必ず４桁の成績開示用暗証番号を登録してください。**成績開示用暗証番号は、出願登録時にしか登録できませんので、ご注意ください。**成績開示用暗証番号は出願確認票（本人控）に印刷されますので、取扱いに十分注意してください。

(2) 成績開示用のパスワードは、出願時に登録した成績開示用暗証番号に続いて受験番号を入力してください。
　例えば、出願時に登録した成績開示用暗証番号が「1230」、受験番号が「A98765」の場合は「1230A98765」となります。

(3) 本人確認として生年月日の入力が必要です。

〔14〕その他

○　個人情報の取扱いについて

(1)　国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、氏名及び大学入学共通テストの受験番号に限り、合否及び入学手続等に関する個人情報が、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達されます。

(2)　出願時に提出された氏名、住所、その他の個人情報は、上記(1)のほか、入学者選抜の実施、入学者の受入れ準備、統計資料等の作成、個人別成績の情報提供以外には利用しませんが、入学者の試験成績は、本学における教育目的や学生生活に関連して利用する場合があります。

(3)　本学の業務を行うために、個人情報の電算処理を外部に委託する場合には、個人情報の保護に関する法律及び大阪府個人情報保護条例の趣旨に則った保護管理の事項を明記の上、契約します。

○　入試情報の公表について

2022年度一般選抜の情報について、下記のとおり本学Webサイトで公表します。

事項		掲載日（予定）
志願状況（倍率等）		2022年１月26日（水）～ （土日の更新はありません。）
２段階選抜の実施状況 （注１）	前期日程	2022年２月14日（月）10:00～
	後期日程 公立大学中期日程	2022年２月18日（金）10:00～
合格者発表 （合格者受験番号） （注２）	前期日程	2022年３月　９日（水）11:00～３月15日（火）17:00
	後期日程	2022年３月22日（火）15:00～３月27日（日）17:00
	公立大学中期日程	2022年３月23日（水）11:00～３月27日（日）17:00
追加合格について （実施の有無及び結果）	有無について	2022年３月27日（日）18:00頃
	結果について	2022年３月28日（月）～決定次第
入試結果（統計資料）		2022年４月下旬（予定）～
入試問題及び解答 （一部、出題の意図及び解答例）		2022年５月中旬（予定）～

（注１）本学Webサイトでは実施の有無のみ公表します。第１段階選抜結果はインターネット出願サイトで確認してください。（確認方法は本学Webサイトに掲載します。）

（注２）特別日程試験については65ページを参照してください。

大阪公立大学　入試情報サイト（学部・学域）　▶▶▶
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/ug/

○　主な学びのキャンパスについて

2022 年度入学生の大阪公立大学入学後の主な学びのキャンパスは以下のとおり予定しています。試験会場と異なる場合もありますので、ご注意ください。

各キャンパスへの交通アクセスは、78 ページをご覧ください。

学部・学域等		１年次	２年次	３年次	４年次	５・６年次
現代システム科学域		中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	―
文学部		杉本	杉本	杉本	森之宮(注７)	―
法学部		杉本	杉本	杉本	杉本	―
経済学部		杉本	杉本	杉本	杉本	―
商学部		杉本	杉本	杉本	杉本	―
理学部	数学科、物理学科、化学科、生物学科、地球学科	杉本	杉本	杉本	杉本	―
	生物化学科	杉本	杉本・中百舌鳥(注１)	中百舌鳥	中百舌鳥	―
工学部	航空宇宙工学科、海洋システム工学科、機械工学科、電子物理工学科、情報工学科、電気電子システム工学科、応用化学科、化学工学科、マテリアル工学科	中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	―
	建築学科、都市学科、化学バイオ工学科	杉本	杉本	杉本	杉本	―
農学部		中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	中百舌鳥	―
獣医学部		中百舌鳥・りんくう(注２)	りんくう	りんくう	りんくう	りんくう
医学部	医学科	杉本・阿倍野(注３)	阿倍野	阿倍野	阿倍野	阿倍野
	リハビリテーション学科	杉本・羽曳野・阿倍野(注４)	羽曳野	羽曳野	森之宮(注７)	―
看護学部		中百舌鳥	羽曳野	阿倍野	阿倍野	―
生活科学部	食栄養学科	杉本	杉本 又は 羽曳野(注５)(注６)	杉本 又は 羽曳野(注５)	森之宮(注７)	―
	居住環境学科 人間福祉学科	杉本	杉本	杉本	杉本	―

（注１）基本は杉本キャンパス。後期週２日中百舌鳥キャンパス。

（注２）基本は中百舌鳥キャンパス。後期週１日りんくうキャンパス。

（注３）基本は杉本キャンパス。前期週１日、後期週２日阿倍野キャンパス。

（注４）基本は杉本キャンパス。週２日程度羽曳野キャンパス、かつ週１日程度阿倍野キャンパス。

（注５）入試の型により杉本キャンパス、羽曳野キャンパスのいずれかに配属（入試の型が「均等型」の場合２年次・３年次羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合２年次・３年次杉本キャンパス）。

（注６）羽曳野キャンパス配属の２年次生は、週１日杉本キャンパス。

（注７）森之宮キャンパスは 2025 年度開設予定であり、交通アクセスは掲載していません。

〔15〕新型コロナウイルス感染症等に係る個別学力検査等の特別日程試験について

新型コロナウイルス感染症の罹患等による前期日程・後期日程・公立大学中期日程の個別学力検査等の欠席者に対して「特別日程試験」を行います。特別日程試験の大学入学共通テストの利用教科・科目、配点及び個別学力検査等の実施教科・科目、配点は 66～73 ページのとおりです。各学部・学域等の前期日程・後期日程・公立大学中期日程（別表１（32～49 ページ）参照）と異なる場合がありますので出願の際にはご注意ください。

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目により、特別日程試験の対象者とならない場合がありますのであわせてご注意ください。

（注）・特別日程試験において個別学力検査等を課さない又は大学入学共通テストの成績を利用する学部・学域等は、試験実施期日の当日個別学力検査等を実施しません。対象の学部・学域等及び前期日程・後期日程・公立大学中期日程の区分については、66～73 ページの個別学力検査等の欄を確認してください。

・特に記載のない限り、「〔４〕出願手続（インターネット出願）」（20 ページ）以降はその他の者と同様です。ただし、合格者発表及び入学手続期限について、特別日程試験の対象者は異なります。詳細は以下及び別途通知する内容にて確認してください。

・特別日程試験の対象者が本来受験する予定であった個別学力検査等について、以降「本試験」と表記します。

１　対象者

出願期間内に出願書類等を受理した者のうち、各学部・学域等が特別日程試験で指定している大学入学共通テストの教科・科目を受験している者で以下のいずれかに該当するもの。

①　新型コロナウイルス感染症に罹患し、試験日に入院中又は自宅や宿泊施設において療養中の者

②　保健所等から試験日を含む期間、濃厚接触者に該当するとされた者

③　試験当日、発熱・咳等の症状がある者

④　新型コロナウイルス感染症に関する水際対策の強化に係る措置による上陸拒否等により入国できず受験できなかった者

⑤　海外から日本に入国して受験する場合に、入国後の待機期間中の者

②に該当する者のうち、発熱・咳等の症状がない無症状の濃厚接触者で、以下のいずれの要件も満たす場合は、本試験の受験を認めます（工学部中期日程名古屋試験場を除く）。

ⅰ）初期スクリーニング（自治体又は自治体から指示された医療機関が実施する PCR 検査等の結果〈行政検査〉）の結果、陰性である。

ⅱ）受験当日も無症状である。

ⅲ）公共交通機関を利用せず、かつ、人が密集する場所を避けて試験会場に来場できる。

ⅳ）終日、別室で受験する。

無症状の濃厚接触者で本試験の受験を希望する者は、試験日の３日前正午までに「２　申出方法等」の「(2) 申出先（連絡先）」に申し出てください。ただし、工学部中期日程名古屋試験場に限り、本試験の受験を希望できません。特別日程試験の受験を申請してください。

（注）・その他の疾病、負傷及び試験場に向かう途中の事故については、特別日程試験の対象とはなりません。

・受験者（医学部医学科以外）で、本試験当日に１科目でも受験した場合は、特別日程試験の対象者となりません。

・医学部医学科の受験者で、本試験１日目（２月 25 日、筆記試験）を受験し、２日目（２月 26 日、面接）を特別日程試験に該当する事由で欠席した場合は、特別日程試験では面接のみを実施します。また、１日目（２月 25 日、筆記試験）を特別日程試験に該当する事由で欠席した場合は、２日目（２月

26 日、面接）は受験することができませんので、特別日程試験では、筆記試験（論文）と面接の両方を実施します。

・「〔６〕選抜方法」(27～28 ページ）の「１　選抜方法について」(2)に挙げる合格判定の対象とならない者及び「(3) ２段階選抜について」による第１段階選抜の結果の不合格者は、対象となりません。

・理学部前期日程、工学部前期日程及び工学部中期日程については、第２・第３志望まで志望していても、第１志望までしか合格判定の対象となりません。また、医学部医学科前期日程では「一般枠」及び「大阪府指定医療枠」の出願枠を第２志望まで志望していても、第１志望までしか合格判定の対象となりません。

・商学部後期日程、経済学部後期日程、農学部緑地環境科学科後期日程は、本試験で個別学力検査等を課さないため、対象となりません。

２　申出方法等

(1) 申出期限

本試験実施日の正午まで

(2) 申出先（連絡先）

文学部、法学部、経済学部、商学部、理学部、医学部医学科、看護学部、生活科学部の受験者

杉本キャンパス入試課（TEL 06-6605-2141、FAX 06-6605-2133）

現代システム科学域、工学部、農学部、獣医学部、医学部リハビリテーション学科の受験者

中百舌鳥キャンパス入試課（TEL 072-254-9202、FAX 072-254-9902）

(3) 必要書類・提出期限

本試験実施日翌日の正午までに、入試課まで該当事由ごとに以下の必要書類を提出してください。提出場所は申出時に指定します。診断書等の提出が難しい場合は、入試課に申し出てください。

該当事由	必要書類
63 ページ「１　対象者」の①又は③に該当する者	・特別日程試験受験申請書 ・医師の診断書（原本で治療期間が明記されたもの）
63 ページ「１　対象者」の②に該当する者	・特別日程試験受験申請書 ・PCR 検査結果又は医師の診断書（原本で治療期間が明記されたもの）、あるいは濃厚接触者であることの何らかの文書を有していればその写し等
63 ページ「１　対象者」の④又は⑤に該当する者	・特別日程試験受験申請書 ・当該理由に関する証明書等（状況に応じて別途指示します）

【提出期限】前期日程：２月 26 日（土）正午

医学科で 26 日（土）面接のみ申出を行う場合は２月 27 日（日）正午

中期日程：３月９日（水）正午

後期日程：３月 13 日（日）正午

３　実施教科・科目、配点

特別日程試験で指定する大学入学共通テストの成績、個別学力検査等（口述試験等を含む。）の成績、調査書などにより総合判定します。具体的な教科・科目及び配点は 66～73 ページのとおりです。

各学部・学域等により、特別日程試験の実施の方式が異なりますので注意してください。

【Ａ】大学において、筆記試験や口述試験を個別学力検査等として実施する学部

…文学部、理学部（生物化学科を除く）、医学部、看護学部

【Ｂ】大学で試験を実施せず、大学入学共通テストの成績を個別学力検査等として利用する学部
…法学部、商学部前期日程

【Ｃ】個別学力検査等を課さない学部・学域等
…現代システム科学域、経済学部前期日程、理学部生物化学科、工学部、農学部、獣医学部、生活科学部

（注）・【Ｂ】及び【Ｃ】の学部・学域等は、特別日程試験として指定した大学入学共通テストの教科・科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。
・商学部後期日程、経済学部後期日程、農学部緑地環境科学科後期日程は特別日程試験を実施しません。

４　実施期日、合格者発表等

各学部・学域等の実施の方式により、次の日程で行います。実施の方式（【Ａ】～【Ｃ】）は「３　実施教科・科目、配点」を参照してください。**詳細は該当者に別途通知します。**

	【Ａ】 大学において、筆記試験や口述試験を個別学力検査等として実施する学部	【Ｂ】 大学で試験を実施せず、大学入学共通テストの成績を個別学力検査等として利用する学部	【Ｃ】 個別学力検査等を課さない学部・学域等
実施期日	３月 22 日（火）	実施しない。	
合格者発表日時	３月 25 日（金）11:00	＜理学部生物化学科以外の学部・学域等＞ 本試験の日程（前期日程・後期日程・公立大学中期日程）と同一（56 ページ参照） ＜理学部生物化学科＞ 【Ａ】と同一（左欄のとおり）	
（Web サイト掲載期間）	３月 25 日（金）11:00～ ３月 27 日（日）17:00		
入学手続指定日	３月 26 日(土)･27 日(日) ※学部・学域等により日時に指定があります。	＜理学部生物化学科以外の学部・学域等＞ 本試験の日程（前期日程・後期日程・公立大学中期日程）と同一（57 ページ参照） ＜理学部生物化学科＞ 【Ａ】と同一（左欄のとおり）	

（注）・【Ａ】における実施期日は、本試験の日程（前期日程・後期日程・公立大学中期日程）にかかわらず共通です。本試験において許可された受験上の配慮は、原則として特別日程試験においても行います。
・【Ａ】において特別日程試験も受験できない場合は欠席扱いとします。改めて試験は行いません。
・【Ａ】における個別学力検査等の時間割及び試験会場等の詳細は別途通知します。
・合格者発表は、該当者がいる場合のみ行います。
・【Ａ】の日程で本学の特別日程試験に合格し、入学手続を行う者（理学部生物化学科を含む）で、他の国公立大学の入学手続を完了している場合は、その国公立大学の入学手続の取り消しを行う必要があります。本学の前期日程の特別日程試験の合格者は他の国公立大学の「公立大学中期日程」「後期日程」の入学手続の取り消しを行う場合に限り、本学の入学手続をとることができます。また、本学の後期日程の特別日程試験の合格者は他の公立大学の「公立大学中期日程」の入学手続の取り消しを行う場合に限り、本学の入学手続をとることができます。他の国公立大学の入学手続の取り消し方法等については、その国公立大学に確認してください。あわせて、該当する者は入試課（TEL 06-6605-2141）に他の国公立大学の入学手続を取り消す旨、申し出てください。

※ 個別学力検査等の特別日程試験について変更が生じた場合、本学 Web サイトにおいて公表します。

特別日程試験　大学入学共通テスト及び個別学力検査等【特別日程試験】の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
（個別学力検査等で大学入学共通テストの成績を利用する場合の注意事項は、記載欄に関わらず指定の番号の注を確認してください。）

学部・学域等名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
現代システム科学域	知識情報システム学類	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【32ページ参照】		課さない。	
	環境社会システム学類	前期（英・国型）			課さない。	
		前期（理・数型）			課さない。	
	教育福祉学類	前期			課さない。	
	心理学類	前期（英・国型）			課さない。	
		前期（理・数型）			課さない。	
	現代システム科学域	前期（英・数型）	別表１（32～49ページ）の内容と同様【34ページ参照】		課さない。	
		前期（英・国型）			課さない。	
		前期（英・小論型）			課さない。	
		前期（理・数型）			課さない。	
		後期			課さない。	
文学部		前期			国外	国語総合・現代文Ｂ・古典Ｂ 英（注８）
		後期			その他	小論文 与えられた文章に関して自己の見解を論述する形式のもの
法学部		前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【36ページ参照】		その他 国 地歴・公民 数 理 外	大学入学共通テストの成績を利用 国 世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂ、現社、倫、政経、倫・政経から２（２科目のうち１科目は必ず世Ｂ、日Ｂ、地理Ｂから選択すること。２科目とも選択することも可） 数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物基、化基、生基、地基から２又は物、化、生、地学から１（注３） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔５教科７又は８科目〕
		後期				
経済学部		前期			課さない。	
商学部		前期			その他 国 数 外	大学入学共通テストの成績を利用 国 数Ⅰ・数Ａと数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４）

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計
別表1（32～49ページ）参照 ※第1段階選抜は別表1の大学入学共通テストの成績に基づき行います。	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								
	共通テスト	100	100	100	50	100			450
	個別学力検査等	200				200			400
	計	300	100	100	50	300			850
	共通テスト	100	100	100	50	100			450
	個別学力検査等						400		400
	計	100	100	100	50	100	400		850
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。								
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。								

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

特別日程試験　大学入学共通テスト及び個別学力検査等【特別日程試験】の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
（個別学力検査等で大学入学共通テストの成績を利用する場合の注意事項は、記載欄に関わらず指定の番号の注を確認してください。）

学部・学域等名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
理学部	数学科	前期・後期	数 外	数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔２教科３科目〕	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ（注６）
	物理学科	前期・後期	数 理 外	数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 物と 化、生、地学から１ 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔３教科５科目〕	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数Ａ・数Ｂ（注６） 物基・物（注７）
	化学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様 【38ページ参照】		その他	口述試験 口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。
		後期			その他	口述試験 口述試験は、学習意欲、学習能力等について行います。
	生物学科	前期			その他	口述試験 口述試験は、「理科（大学入学共通テストで利用した２科目）」の学力と学習意欲、学習能力等について行います。
		後期	数 理 外	数Ⅰ・数Ａと 数Ⅱ・数Ｂ、簿、情報から１（注２） 生 英、独、仏、中、韓から１（注４） 〔３教科４科目〕	その他	口述試験 口述試験は、「生基・生」の学力と学習意欲、学習能力等について行います。
	地球学科	前期・後期			その他	口述試験 口述試験は、理科に関わる基礎的知識について行います。
	生物化学科	前期			課さない。	
		後期			課さない。	
工学部	航空宇宙工学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様 【40ページ参照】		課さない。	
		中期			課さない。	
	海洋システム工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	機械工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	建築学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
※理学部は大学入学共通テストの利用教科・科目が別表１（32～49ページ）と異なる場合がありますので、十分注意をしてください。

	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計
別表1（32～49ページ）参照 ※第1段階選抜は別表1の大学入学共通テストの成績に基づき行います。	共通テスト			200		300			500
	個別学力検査等			500					500
	計			700		300			1,000
	共通テスト			100	100	200			400
	個別学力検査等			100	300				400
	計			200	400	200			800
	共通テスト	100	50	300	300	200			950
	個別学力検査等							100	100
	計	100	50	300	300	200		100	1,050
	共通テスト	100		200	400	300			1,000
	個別学力検査等							100	100
	計	100		200	400	300		100	1,100
	共通テスト	100	50	300	300	200			950
	個別学力検査等							200	200
	計	100	50	300	300	200		200	1,150
	共通テスト			200	600	200			1,000
	個別学力検査等							200	200
	計			200	600	200		200	1,200
	共通テスト	50	50	150	200	150			600
	個別学力検査等							300	300
	計	50	50	150	200	150		300	900
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

特別日程試験

大学入学共通テスト及び個別学力検査等【特別日程試験】の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
（個別学力検査等で大学入学共通テストの成績を利用する場合の注意事項は、記載欄に関わらず指定の番号の注を確認してください。）

学部・学域等名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
工学部	都市学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【40ページ参照】		課さない。	
		中期			課さない。	
	電子物理工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	情報工学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【42ページ参照】		課さない。	
		中期			課さない。	
	電気電子システム工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	応用化学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	化学工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	マテリアル工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
	化学バイオ工学科	前期			課さない。	
		中期			課さない。	
農学部	応用生物科学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【44ページ参照】		課さない。	
		後期			課さない。	
	生命機能化学科	前期			課さない。	
		後期			課さない。	
	緑地環境科学科	前期			課さない。	
獣医学部		前期			課さない。	

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。

		大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	２段階選抜	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計
	別表1（32～49ページ）参照 ※第1段階選抜は別表1の大学入学共通テストの成績に基づき行います。	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								
		※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								
		※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								

特別日程試験　大学入学共通テスト及び個別学力検査等【特別日程試験】の教科・科目、配点等

●表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
（個別学力検査等で大学入学共通テストの成績を利用する場合の注意事項は、記載欄に関わらず指定の番号の注を確認してください。）

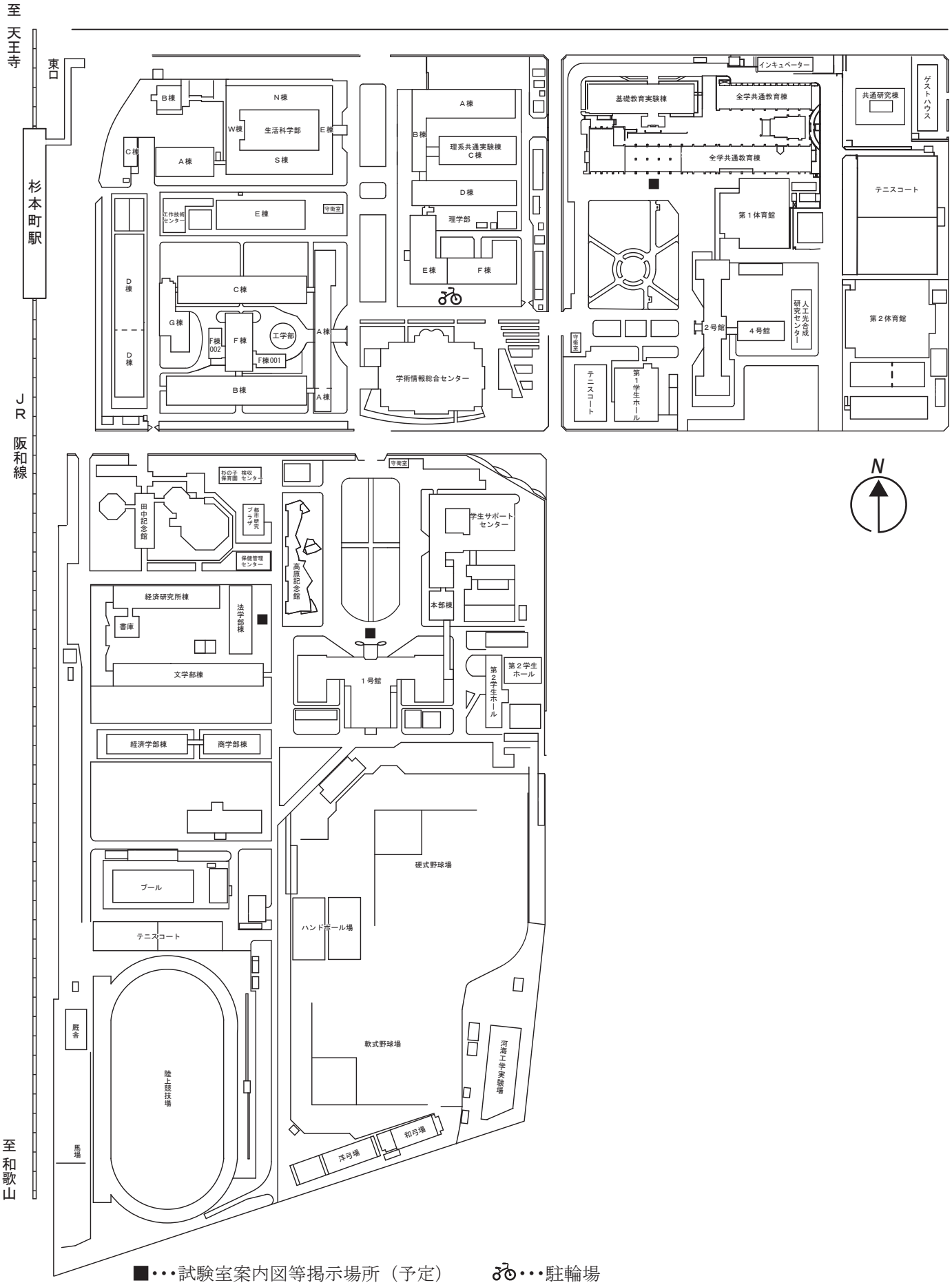
学部・学域等名		学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等	
			教科	科目名等	教科等	科目名等
医学部	医学科	前期	別表１（32～49ページ）の内容と同様【46ページ参照】		その他 その他	論文 医学科の学修に必要となる読解力、思考力、表現力、語学力等を確認します。 面接 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般的態度・発言内容・コミュニケーション能力等の評価を通じて、医師・医学研究者としての適性を判断します。したがって、学力検査の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。
	リハビリテーション学科＜理学療法学専攻＞	前期			その他 〔外 その他	大学入学共通テストの成績を利用 英、独、仏、中、韓から１（注４）〕 面接
		後期			その他	面接
	リハビリテーション学科＜作業療法学専攻＞	前期			その他 〔外 その他	大学入学共通テストの成績を利用 英、独、仏、中、韓から１（注４）〕 面接
		後期			その他	面接
看護学部		前期			その他	面接
		後期			その他	面接
生活科学部	食栄養学科	前期（均等型）※	別表１（32～49ページ）の内容と同様【48ページ参照】		課さない。	
		前期（理数重点型）※				
	居住環境学科	前期			課さない。	
	人間福祉学科	前期			課さない。	

（注）表中の教科・科目名の表記及び注意事項等について、50～51ページに記載があります。
※生活科学部食栄養学科は、入試の型により授業を受けるキャンパスが異なります。
（入試の型が「均等型」の場合、２年次・３年次は羽曳野キャンパス、「理数重点型」の場合、２年次・３年次は杉本キャンパス）

２段階選抜	大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等								
	試験の区分	国語	地歴・公民	数学	理科	外国語	小論文	口述・面接	配点合計
別表1（32～49ページ）参照 ※第1段階選抜は別表1の大学入学共通テストの成績に基づき行います。	共通テスト	150	50	200	200	200			800
	個別学力検査等						100	◎	100
	計	150	50	200	200	200	100		900
	◎面接では、入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、一般的態度・発言内容・コミュニケーション能力等の評価を通じて、医師・医学研究者としての適性を判断します。したがって、学力検査の成績の如何にかかわらず不合格となることがあります。								
	共通テスト	200	100	200	100	200			800
	個別学力検査等					100		300	400
	計	200	100	200	100	300		300	1,200
	共通テスト	200		200	200	100			700
	個別学力検査等							300	300
	計	200		200	200	100		300	1,000
	共通テスト	200	100	200	100	200			800
	個別学力検査等					100		300	400
	計	200	100	200	100	300		300	1,200
	共通テスト	200		200		200			600
	個別学力検査等							300	300
	計	200		200		200		300	900
	共通テスト	＊350 ＊200	100	＊200 ＊350	200	350			1,200
	個別学力検査等							100	100
	計	＊350 ＊200	100	＊200 ＊350	200	350		100	1,300
	＊個別学力検査の選択教科が国語の場合は上段、数学の場合は下段の配点となります。								
	※一般選抜（前期）の本試験の結果を踏まえて、大学入学共通テストの成績及び面接試験の結果をそれぞれ考慮して「合」「否」を判定します。								
	共通テスト	200	100	200	200	200			900
	個別学力検査等							50	50
	計	200	100	200	200	200		50	950
	※特別日程試験は左記の大学入学共通テストの該当科目の得点を利用し、配点（受験者の公平性の観点から非公表）は、大学で事前に定めたものに基づきます。 なお、個別学力検査は課さないため、配点はありません。								

・２科目を課す教科の配点は、合計得点を表しており、それぞれの配点は同点とします。

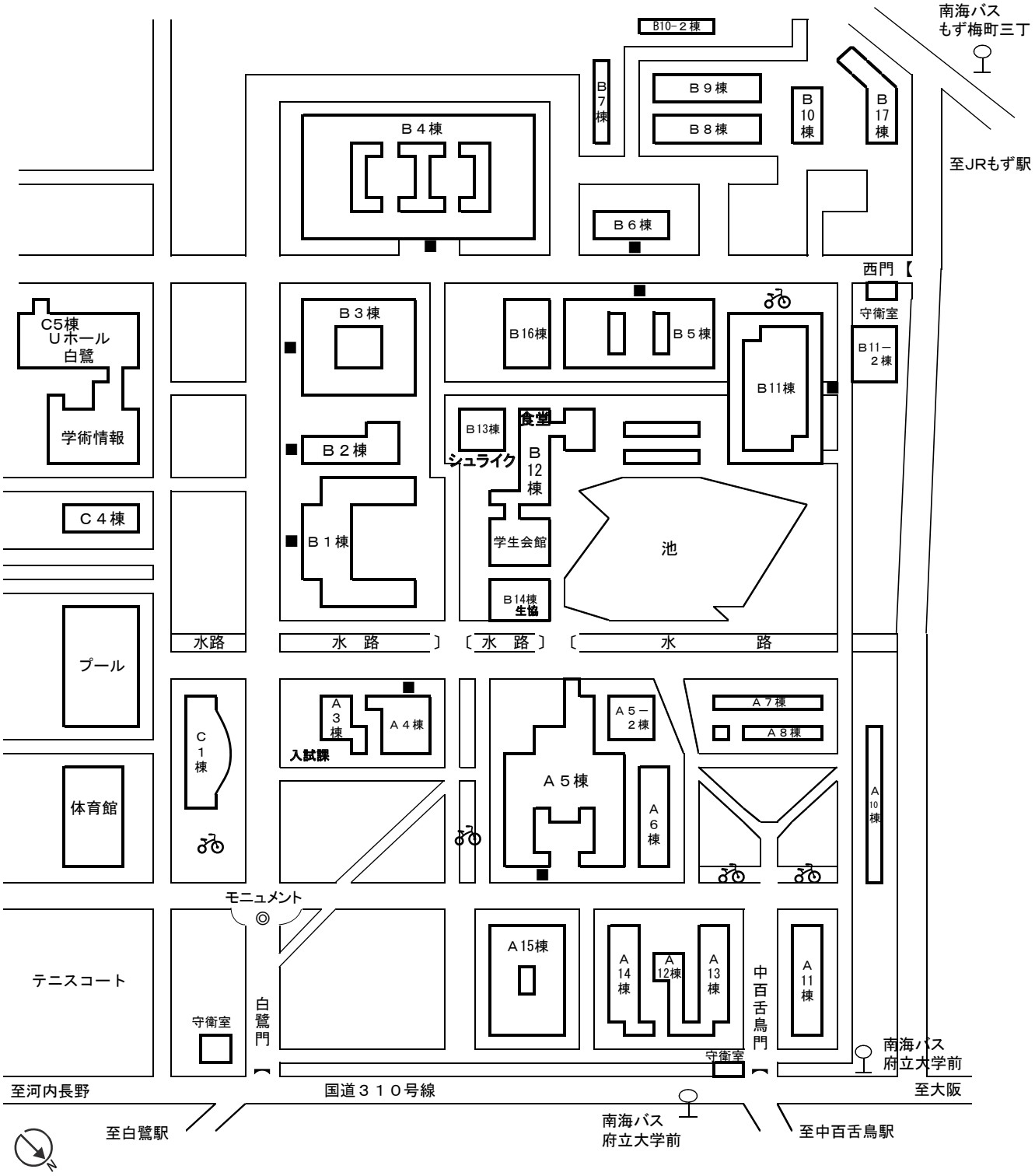
杉本キャンパス試験場案内図



■・・・試験室案内図等掲示場所（予定）　　🚲・・・駐輪場

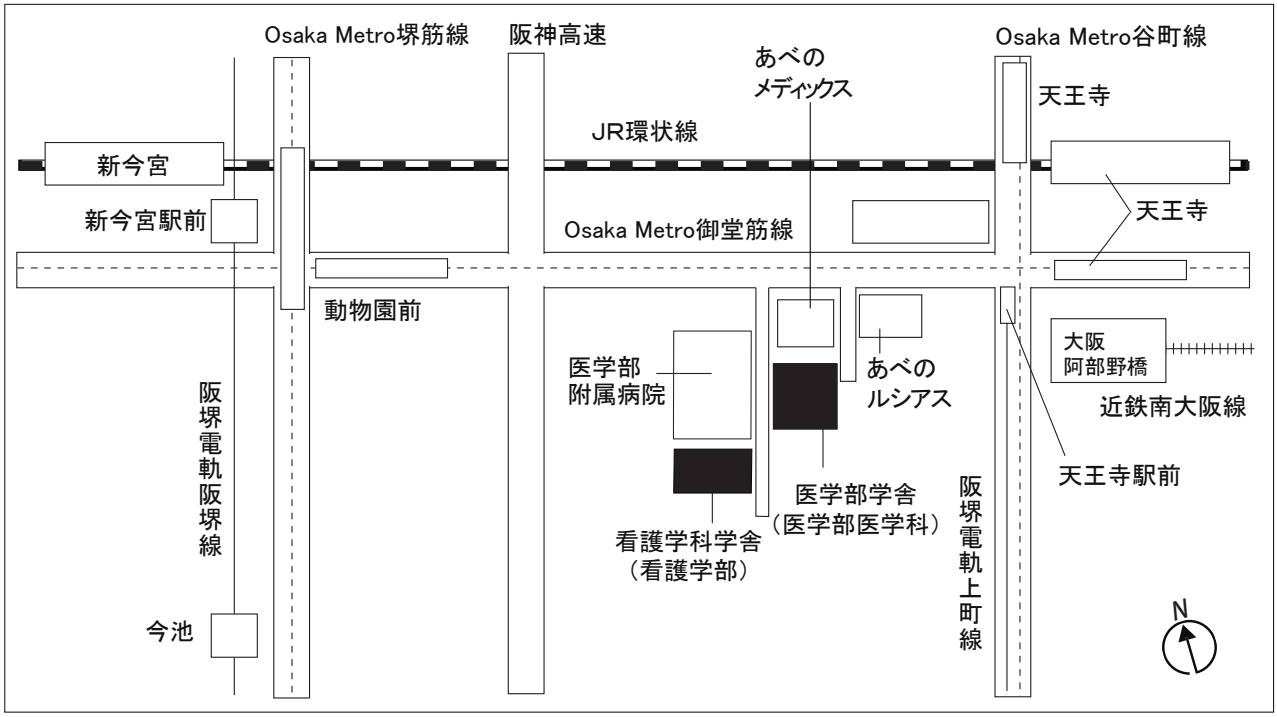
※新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、掲示場所が変更となる場合があります。

中百舌鳥キャンパス試験場案内図

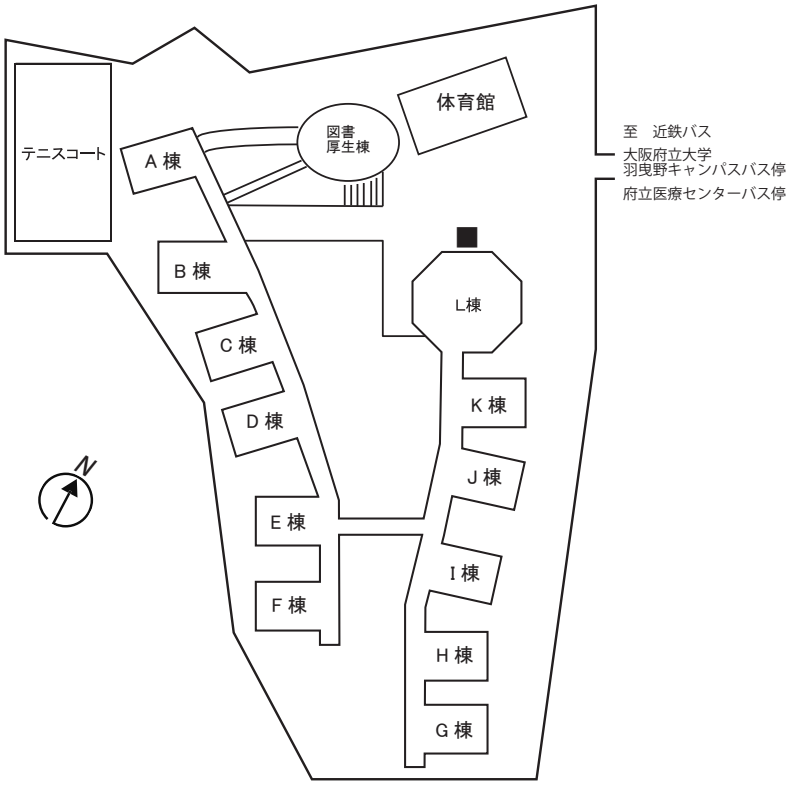


■・・・試験室案内図等掲示場所（予定）　🚲・・・駐輪場
※新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、掲示場所が変更となる場合があります。

阿倍野キャンパス試験場案内図

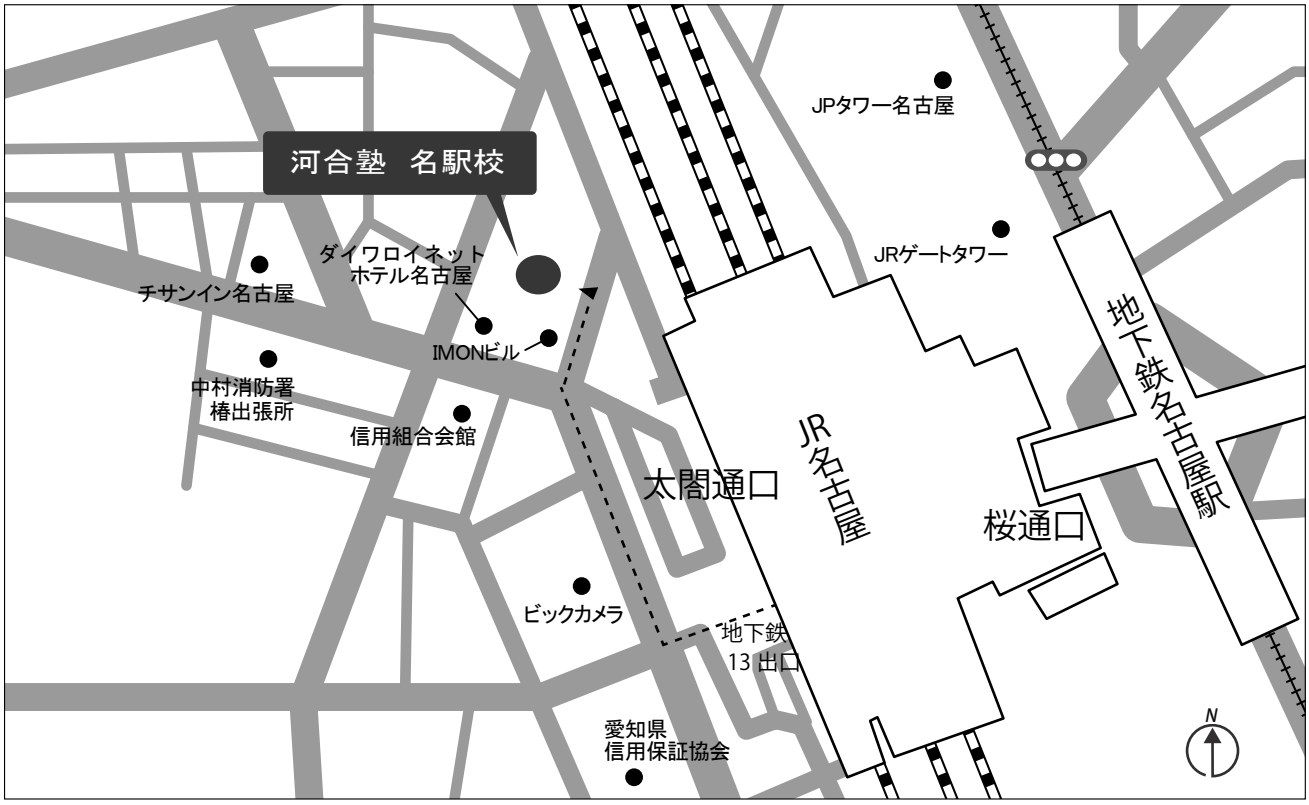


羽曳野キャンパス試験場案内図



■・・・試験室案内図等掲示場所（予定）
※新型コロナウイルス感染症の感染状況等により、掲示場所が変更となる場合があります。

名古屋試験場（工学部）試験場案内図



河合塾　名駅校

住所：〒453-0015
　　愛知県名古屋市中村区椿町1-12

●JR名古屋駅太閤通口から徒歩3分

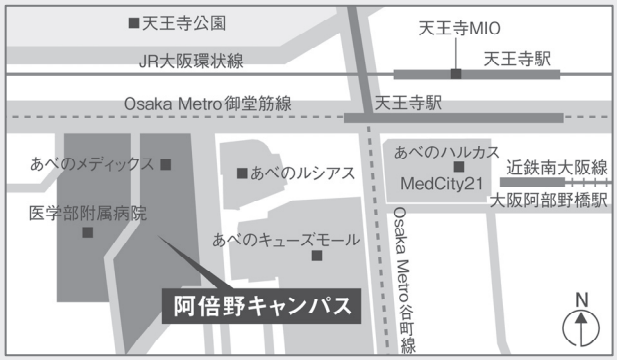
●名鉄名古屋駅・近鉄名古屋駅・地下鉄名古屋駅から徒歩6分

※名古屋試験場は、インターネット出願登録の先着順で受付します。
　定員に達した場合は、中百舌鳥キャンパスでの受験となりますのでご了承ください。

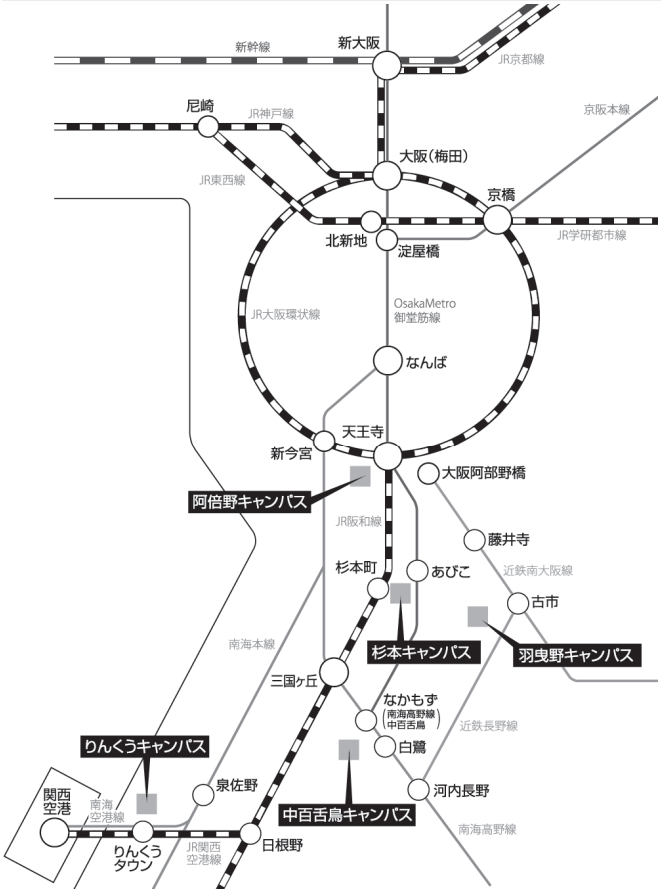
※名古屋試験場への直接の問合せ、事前の訪問等はご遠慮ください。
　交通手段等、入試に関する質問は、入試課（TEL 072-254-9202）までお問い合わせください。

交通アクセス

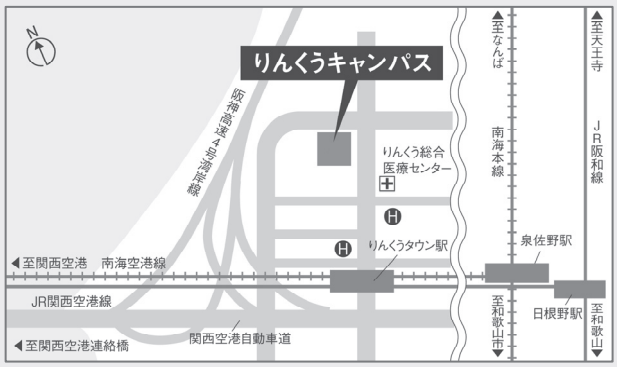
■阿倍野キャンパス



・JR・Osaka Metro「天王寺駅」又は近鉄南大阪線「大阪阿部野橋駅」下車、西へ徒歩約 10 分



■りんくうキャンパス



・JR 関西空港線・南海空港線「りんくうタウン駅」下車、3番出口から徒歩約 6 分

■杉本キャンパス

・JR 阪和線「杉本町（大阪市立大学前）駅」下車、東口からすぐ
・Osaka Metro 御堂筋線「あびこ駅」下車、4号出口から南西へ徒歩約 15 分

■羽曳野キャンパス

・近鉄南大阪線「藤井寺駅」下車、南口近鉄バス（1番のりば 71、78 系統、3番のりば（銀行前）61、62、63、65、66、67系統）で約 10 分、「府立医療センター」下車、徒歩約10 分
・近鉄南大阪線「古市駅」下車、近鉄バス（1番のりば 87 系統）で約 10 分、「大阪府立大学羽曳野キャンパス」下車。又は近鉄バス（2番のりば 81、82 系統）で約 10 分、「府立医療センター」下車、徒歩約 10 分

■中百舌鳥キャンパス

・南海高野線「白鷺駅」下車、南西へ徒歩約 7 分
・南海高野線「中百舌鳥駅」下車、南東へ徒歩約 13 分
・Osaka Metro 御堂筋線「なかもず駅」下車、5号出口から南東へ徒歩約 13 分

問合せ先・各キャンパス窓口

（注）インターネット出願サイトの操作方法・入学検定料支払い方法に関する問合せ先については、26 ページを参照してください。

【現代システム科学域・工学部・農学部・獣医学部】

事項	問合せ先	電話番号
入試に関すること	入試課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9202
入学手続に関すること	現代システム科学域	
	工学部	072-252-6305
	農学部	072-254-9202
	獣医学部	072-254-9202
入学料に関すること	入試課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9117
授業料に関すること	学生課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-8415
経済支援制度に関すること	学生課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9116/6174

【文学部・法学部・経済学部・商学部・理学部・生活科学部】

事項	問合せ先	電話番号
入試に関すること	入試課（杉本キャンパス）	06-6605-2141
入学手続に関すること	文学部	06-6605-2353
	法学部	06-6605-2303
	経済学部	06-6605-2251
	商学部	06-6605-2201
	理学部	06-6605-2504
	生活科学部	06-6605-2803
入学料・授業料に関すること	学生課（杉本キャンパス）	06-6605-2054
経済支援制度に関すること	学生課（杉本キャンパス）	06-6605-2101/2102

【医学部医学科】

事項	問合せ先	電話番号
入試に関すること 入学手続に関すること	医学部学務課事務室	06-6645-3611
入学料・授業料に関すること	学生課（杉本キャンパス）	06-6605-2054
経済支援制度に関すること	学生課（杉本キャンパス）	06-6605-2101/2102

【看護学部・医学部リハビリテーション学科】

事項	問合せ先	電話番号
入試に関すること 入学手続に関すること	医学部リハビリテーション学科	072-950-2117
	看護学部	
入学料に関すること	入試課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9117
授業料に関すること	学生課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-8415
経済支援制度に関すること	学生課（中百舌鳥キャンパス）	072-254-9116/6174

受付時間：月～金曜日（祝日及び休業日を除く。）9:00～17:00

Web サイト

最新の情報は、Web サイトからご確認ください。

大阪公立大学　入試情報サイト
https://www.upc-osaka.ac.jp/new-univ/admissions/

大阪公立大学

入試課

〒558-8585　大阪府大阪市住吉区杉本３丁目３番 138 号

TEL 06-6605-2141　FAX 06-6605-2133

2021 年 11 月